

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第5719455号
(P5719455)

(45) 発行日 平成27年5月20日(2015.5.20)

(24) 登録日 平成27年3月27日(2015.3.27)

(51) Int.Cl.

F I

G06Q 30/06 (2012.01)

G06Q 30/06 130

G06Q 10/10 (2012.01)

G06Q 10/10 110

請求項の数 8 (全 52 頁)

(21) 出願番号 特願2013-551749 (P2013-551749)
 (86) (22) 出願日 平成24年12月26日(2012.12.26)
 (86) 国際出願番号 PCT/JP2012/083688
 (87) 国際公開番号 W02013/099964
 (87) 国際公開日 平成25年7月4日(2013.7.4)
 審査請求日 平成25年9月25日(2013.9.25)
 (31) 優先権主張番号 特願2011-285459 (P2011-285459)
 (32) 優先日 平成23年12月27日(2011.12.27)
 (33) 優先権主張国 日本国(JP)
 (31) 優先権主張番号 特願2012-179098 (P2012-179098)
 (32) 優先日 平成24年8月11日(2012.8.11)
 (33) 優先権主張国 日本国(JP)

(73) 特許権者 512000374
 ニーズトゥーマッチ株式会社
 東京都港区麻布十番一丁目3番9号
 (74) 代理人 100104776
 弁理士 佐野 弘
 (74) 代理人 100119194
 弁理士 石井 明夫
 (72) 発明者 笹 幸一
 東京都港区麻布十番一丁目3番9号 ニーズ
 トゥーマッチ株式会社内
 審査官 佐藤 裕子

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 マッチング支援装置、マッチング支援システム及びプログラム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

サービスや物品等を供給する供給者が使用する供給者端末、及び、前記サービスの提供及び物品の有償又は無償の譲渡等を求める需要者が使用する需要者端末との間で相互に通信可能に形成されたマッチング支援装置であって、

前記供給者端末から送信された前記サービスや物品等の供給情報及び前記需要者端末から送信された前記サービスや物品等の需要情報のうち少なくとも何れか一方を取得し、前記供給情報及び前記需要情報のうち少なくとも何れか一方を記録する情報記録手段と、

前記需要情報と前記供給情報とのマッチングを行うマッチング手段と、

前記マッチングの結果を前記供給者端末及び前記需要者端末に送信する結果送信手段と

10

前記供給者端末及び前記需用者端末のうち少なくとも何れか一方に、日単位、及び/又は、週単位、及び/又は、月単位のスケジュールを表示すると共に該スケジュールの記入が可能なスケジュール作成画面を表示させ、時系列に沿ったスケジュール作成機能及びスケジュール管理機能を有し、需要者端末を使用する需要者及び供給者端末を使用する供給者のうち少なくとも何れか一方のスケジュールについて、スケジュール作成及びスケジュール管理を行うスケジュール管理手段とを備え、

前記情報記録手段は、前記供給者端末及び前記需要者端末のうち少なくとも何れか一方から指定された任意の期間、前記供給情報及び前記需要情報のうち少なくとも一方の受信を継続して行うと共に、前記任意の期間前記供給情報及び前記需要情報のうち少なくとも

20

何れか一方の記録を保持し、

前記マッチング手段は、前記スケジュール作成画面に入力された前記供給者、及び／、又は、前記需要者のスケジュール情報を、新たに受信した前記供給情報、及び／又は、新たに受信した前記需要情報とし、前記任意の期間既に受信済の前記供給情報及び前記需要情報のうち少なくとも何れか一方と、前記新たに受信した前記供給情報及び前記新たに受信した前記需要情報のうち少なくとも何れか一方との間で前記マッチングを行い、

前記結果送信手段は、マッチングが未成立の前記供給情報及びマッチングが未成立の前記需要情報及びマッチングが行われた結果に基づく集計情報のうち少なくとも何れか一つを前記需要者端末及び前記供給者端末のうち少なくとも何れか一方に送信し、

前記マッチング手段は、前記マッチングの結果を前記スケジュール管理手段に送り、前記スケジュール管理手段は、前記マッチングの結果を用いて前記スケジュール作成を行うことを特徴とするマッチング支援装置。

【請求項 2】

前記マッチング手段は、前記任意の期間中、前記需要情報と前記供給情報とのマッチングが成立した場合に該成立したマッチング情報を前記情報記録手段に記録して前記成立したマッチング情報を保持すると共に、前記成立したマッチング情報に係る前記需要情報及び前記供給情報のうち少なくとも何れか一方について前記マッチングを継続して行い、

前記マッチング手段は、

前記任意の期間の期間中、又は前記任意の期間が終了した後において、前記結果送信手段によって前記供給者端末及び前記需要者端末のうち少なくとも何れか一方に送信され、前記供給者端末及び前記需要者端末のうち少なくとも何れか一方、及び／又は、前記供給者端末を使用する供給者及び前記需要者端末を使用する需要者のうち少なくとも何れか一方によって選択された、前記保持された前記需要情報及び前記供給情報のうち少なくとも何れか一方について、取引が成立したものとして処理を行うことを特徴とする請求項 1 に記載のマッチング支援装置。

【請求項 3】

前記マッチング手段は、前記任意の期間内であっても、前記供給者端末及び前記需要者端末のうち少なくとも何れか一方から前記マッチングを終了させる旨の命令を取得した時点で前記マッチングを終了させることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のマッチング支援装置。

【請求項 4】

任意の条件の適合状況を監視して該任意の条件に適合した場合に該適合をトリガとして前記マッチング手段に前記マッチングを行わせるトリガ手段を備え、

該トリガ手段は、前記供給者端末及び前記需要者端末のうち少なくとも何れか一方から、新たな前記供給情報、新たな前記需要情報、及び既得の前記供給情報又は既得の前記需要情報を更新する更新情報のうち少なくとも何れか一つを取得した場合に前記供給情報、前記需要情報、及び前記更新情報のうち少なくとも何れか一つを前記トリガとして前記マッチング手段に前記マッチングを行わせ、

前記マッチング手段は、前記マッチングの結果を逐次前記需要者端末及び前記供給者端末のうち少なくとも何れか一つに送信することを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか一つに記載のマッチング支援装置。

【請求項 5】

前記マッチング手段は、

前記需要者が任意の時点より前に前記需要情報に基づいて取引を行う計画としての過去の需要計画情報と前記需要情報に基づいて行われる実際の取引の結果とについて行う任意の演算、及び／又は、前記供給者が任意の時点より前に前記供給情報に基づいて商品の供給等を行う計画としての過去の供給計画情報と前記供給情報に基づいて行われる実際の取引の結果とについて行う任意の演算、により、前記需要者、及び／又は、前記供給者の予定対実績差異比率及び予定対実績差異比率に基づく計画信頼度を算出し、

前記算出された前記予定対実績差異比率及び前記計画信頼度に基づいて、前記需要者が

任意の時点より後に前記需要情報に基づいて取引を行う計画としての未来の需要計画情報、及び／又は、前記供給者が任意の時点より後に前記供給情報に基づいて商品の供給等を行う計画としての未来の前記供給計画情報、の信頼度および傾向値を計測するための統計情報を形成することを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れか一つに記載のマッチング支援装置。

【請求項 6】

前記マッチング手段は、前記予定対実績差異比率及び前記計画信頼度に加え、前記需要者の取引、及び／又は、前記供給者の取引、に対する第三者の評価を少なくとも含む各種情報を用いて前記統計情報を形成することを特徴とする請求項 5 に記載のマッチング装置。

10

【請求項 7】

サービスや物品等を供給する供給者が使用する供給者端末と、前記サービスの提供及び物品の有償又は無償の譲渡等を求める需要者が使用する需要者端末と、

前記供給者端末及び前記需要者端末との間で相互に通信可能に形成されたマッチング支援装置とを備えたマッチング支援システムであって、

前記マッチング支援装置は、前記供給者端末から送信された前記サービスや物品等の供給情報及び前記需要者端末から送信された前記サービスや物品等の需要情報のうち少なくとも何れか一方を取得し、前記供給情報及び前記需要情報のうち少なくとも何れか一方を記録する情報記録手段と、

20

前記需要情報と前記供給情報とのマッチングを行うマッチング手段と、前記マッチングの結果を前記供給者端末及び前記需要者端末に送信する結果送信手段と、

前記供給者端末及び前記需用者端末のうち少なくとも何れか一方に、日単位、及び／又は、週単位、及び／又は、月単位のスケジュールを表示すると共に該スケジュールの記入が可能なスケジュール作成画面を表示させ、時系列に沿ったスケジュール作成機能及びスケジュール管理機能を有し、需要者端末を使用する需要者及び供給者端末を使用する供給者のうち少なくとも何れか一方のスケジュールについて、スケジュール作成及びスケジュール管理を行うスケジュール管理手段とを備え、

前記情報記録手段は、前記供給者端末及び前記需要者端末のうち少なくとも何れか一方から指定された任意の期間、前記供給情報及び前記需要情報のうち少なくとも一方の受信を継続して行うと共に、前記任意の期間前記供給情報及び前記需要情報のうち少なくとも何れか一方の記録を保持し、

30

前記マッチング手段は、前記スケジュール作成画面に入力された前記供給者、及び／又は、前記需要者のスケジュール情報を、新たに受信した前記供給情報、及び／又は、新たに受信した前記需要情報とし、前記任意の期間既に受信済の前記供給情報及び前記需要情報のうち少なくとも何れか一方と、前記新たに受信した前記供給情報及び前記新たに受信した前記需要情報のうち少なくとも何れか一方との間で前記マッチングを行い、

前記結果送信手段は、マッチングが未成立の前記供給情報及びマッチングが未成立の前記需要情報及びマッチングが行われた結果に基づく集計情報のうち少なくとも何れか一つを前記需要者端末及び前記供給者端末のうち少なくとも何れか一方に送信し、

40

前記マッチング手段は、前記マッチングの結果を前記スケジュール管理手段に送り、前記スケジュール管理手段は、前記マッチングの結果を用いて前記スケジュール作成を行うことを特徴とするマッチング支援システム。

【請求項 8】

コンピュータを、請求項 1 乃至 7 の何れか一つに記載のマッチング支援装置として機能させることを特徴とするプログラム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

50

本発明は、サービスや物品等についての、需要者の需要情報と供給者の供給情報とのマッチングを行う技術に関する。

【背景技術】

【0002】

従来より、インターネット等の各種ネットワークを用い、サービスや物品等を供給する供給者（以下「供給者」と称する）の供給条件と、サービスや物品等を求める需要者（以下「需要者」と称する）の需要条件とをマッチングさせるためのシステムが存在する。例えば、従来、サービスの要求元からのエージェントが、供給情報が記録されたWebサービスマッチメイカに希望するサービスの検索要求を送ると、Webサービスマッチメイカから条件項目提示情報が要求元に出力され、要求元が元の検索要求を利用した条件の絞り込みを行って再度サービスの検索要求を行うことを繰り返してマッチングを行うシステムが知られている（例えば特許文献1参照）。また、従来、クライアント端末からの検索要求をパターンとして登録し、複数回検索要求が行われる際に当該パターンを利用するシステムが知られている（例えば特許文献2、特許文献3参照）。また、従来、生鮮商品情報提供サーバに生産者が管理する生鮮商品生産業者端末から送信された生鮮商品情報を記録し、消費者によって管理される消費者端末が生鮮商品情報提供サーバにアクセスして生鮮商品情報を取得するシステムが知られている（例えば特許文献4参照）。

10

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献1】特開2004-30428号公報

【特許文献2】特開2001-282841号公報

【特許文献3】特開2005-92845号公報

【特許文献4】特開2008-276425号公報

20

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

しかしながら、サービスや商品等の供給情報は逐次変化していく場合が多い。これに対し、上記特許文献1乃至4に記載した構成においては、需要者は、端末を使ってサーバ等にアクセスし、過去の一時点でサーバ等に蓄積された供給情報のみに基づいて需要のマッチングを図ることしかできず、現在、あるいは未来の供給条件に適合したマッチングを行うことはできないという問題がある。

30

【0005】

本発明はこのような問題に鑑みてなされたものであり、情報の変化を迅速かつ的確に反映した、需要情報と供給情報とのマッチングを実現するマッチング支援装置、マッチング支援システム、及びプログラムを提供することを課題としている。

【課題を解決するための手段】

【0006】

本発明に係るマッチング支援装置は、サービスや物品等を供給する供給者が使用する供給者端末、及び、前記サービスの提供及び物品の有償又は無償の譲渡等を求める需要者が使用する需要者端末との間で相互に通信可能に形成されたマッチング支援装置であって、前記供給者端末から送信された前記サービスや物品等の供給情報及び前記需要者端末から送信された前記サービスや物品等の需要情報のうち少なくとも何れか一方を取得し、前記供給情報及び前記需要情報のうち少なくとも何れか一方を記録する情報記録手段と、前記需要情報と前記供給情報とのマッチングを行うマッチング手段と、前記マッチングの結果を前記供給者端末及び前記需要者端末に送信する結果送信手段と、前記供給者端末及び前記需用者端末のうち少なくとも何れか一方に、日単位、及び/又は、週単位、及び/又は、月単位のスケジュールを表示すると共に該スケジュールの記入が可能なスケジュール作成画面を表示させ、時系列に沿ったスケジュール作成機能及びスケジュール管理機能を有し、需要者端末を使用する需要者及び供給者端末を使用する供給者のうち少なくとも何れ

40

50

か一方のスケジュールについて、スケジュール作成及びスケジュール管理を行うスケジュール管理手段とを備え、前記情報記録手段は、前記供給者端末及び前記需要者端末のうち少なくとも何れか一方から指定された任意の期間、前記供給情報及び前記需要情報のうち少なくとも一方の受信を継続して行うと共に、前記任意の期間前記供給情報及び前記需要情報のうち少なくとも何れか一方の記録を保持し、前記マッチング手段は、前記スケジュール作成画面に入力された前記供給者、及び／又は、前記需要者のスケジュール情報を、新たに受信した前記供給情報、及び／又は、新たに受信した前記需要情報とし、前記任意の期間既に受信済の前記供給情報及び前記需要情報のうち少なくとも何れか一方と、前記新たに受信した前記供給情報及び前記新たに受信した前記需要情報のうち少なくとも何れか一方との間で前記マッチングを行い、前記結果送信手段は、マッチングが未成立の前記供給情報及びマッチングが未成立の前記需要情報及びマッチングが行われた結果に基づく集計情報のうち少なくとも何れか一つを前記需要者端末及び前記供給者端末のうち少なくとも何れか一方に送信し、前記マッチング手段は、前記マッチングの結果を前記スケジュール管理手段に送り、前記スケジュール管理手段は、前記マッチングの結果を用いて前記スケジュール作成を行うことを特徴とする。

10

【 0 0 0 7 】

請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の構成に加え、前記マッチング手段は、前記任意の期間中、前記需要情報と前記供給情報とのマッチングが成立した場合に該成立したマッチング情報を前記情報記録手段に記録して前記成立したマッチング情報を保持すると共に、前記成立したマッチング情報に係る前記需要情報及び前記供給情報のうち少なくとも何れか一方について前記マッチングを継続して行い、前記マッチング手段は、前記任意の期間の期間中、又は前記任意の期間が終了した後において、前記結果送信手段によって前記供給者端末及び前記需要者端末のうち少なくとも何れか一方に送信され、前記供給者端末及び前記需要者端末のうち少なくとも何れか一方、及び／又は、前記供給者端末を使用する供給者及び前記需要者端末を使用する需要者のうち少なくとも何れか一方によって選択された、前記保持された前記需要情報及び前記供給情報のうち少なくとも何れか一方について、取引が成立したものとして処理を行うことを特徴とする。

20

【 0 0 0 8 】

請求項 3 に記載の発明は、請求項 1 又は 2 に記載の構成に加え、前記マッチング手段は、前記任意の期間内であっても、前記供給者端末及び前記需要者端末のうち少なくとも何れか一方から前記マッチングを終了させる旨の命令を取得した時点で前記マッチングを終了させることを特徴とする。

30

【 0 0 0 9 】

請求項 4 に記載の発明は、請求項 1 乃至 3 の何れか一つに記載の構成に加え、本発明に係るマッチング支援装置において、任意の条件の適合状況を監視して該任意の条件に適合した場合に該適合をトリガとして前記マッチング手段に前記マッチングを行わせるトリガ手段を備え、該トリガ手段は、前記供給者端末及び前記需要者端末のうち少なくとも何れか一方から、新たな前記供給情報、新たな前記需要情報、及び既得の前記供給情報又は既得の前記需要情報を更新する更新情報のうち少なくとも何れか一つを取得した場合に前記供給情報、前記需要情報、及び前記更新情報のうち少なくとも何れか一つを前記トリガとして前記マッチング手段に前記マッチングを行わせることを特徴とする。

40

【 0 0 1 3 】

請求項 7 に記載の発明は、請求項 1 乃至 6 の何れか一つに記載の構成に加え、前記マッチング手段は、前記需要者が任意の時点より前に前記需要情報に基づいて取引を行う計画としての過去の需要計画情報と前記需要情報に基づいて行われる実際の取引の結果とについて行う任意の演算、及び／又は、前記供給者が任意の時点より前に前記供給情報に基づいて商品の供給等を行う計画としての過去の供給計画情報と前記供給情報に基づいて行われる実際の取引の結果とについて行う任意の演算、により、前記需要者、及び／又は、前記供給者の予定対実績差異比率及び予定対実績差異比率に基づく計画信頼度を算出し、前記算出された前記予定対実績差異比率及び前記計画信頼度に基づいて、前記需要者が任意

50

の時点より後に前記需要情報に基づいて取引を行う計画としての未来の需要計画情報、及び／又は、前記供給者が任意の時点より後に前記供給情報に基づいて商品の供給等を行う計画としての未来の前記供給計画情報、の信頼度および傾向値を計測するための統計情報を形成することを特徴とする。

【0014】

請求項8に記載の発明は、請求項7に記載の構成に加え、前記マッチング手段は、前記予定対実績差異比率及び前記計画信頼度に加え、前記需要者の取引、及び／又は、前記供給者の取引、に対する第三者の評価を少なくとも含む各種情報を用いて前記統計情報を形成することを特徴とする。

【0015】

本発明に係るマッチング支援システムは、サービスや物品等を供給する供給者が使用する供給者端末、及び、前記サービスの提供及び物品の有償又は無償の譲渡等を求める需要者が使用する需要者端末との間で相互に通信可能に形成されたマッチング支援装置とを備えた、マッチング支援システムであって、前記供給者端末から送信された前記サービスや物品等の供給情報及び前記需要者端末から送信された前記サービスや物品等の需要情報のうち少なくとも何れか一方を取得し、前記供給情報及び前記需要情報のうち少なくとも何れか一方を記録する情報記録手段と、前記需要情報と前記供給情報とのマッチングを行うマッチング手段と、前記マッチングの結果を前記供給者端末及び前記需要者端末に送信する結果送信手段と、前記供給者端末及び前記需用者端末のうち少なくとも何れか一方に、日単位、及び／又は、週単位、及び／又は、月単位のスケジュールを表示すると共に該スケジュールの記入が可能なスケジュール作成画面を表示させ、時系列に沿ったスケジュール作成機能及びスケジュール管理機能を有し、需要者端末を使用する需要者及び供給者端末を使用する供給者のうち少なくとも何れか一方のスケジュールについて、スケジュール作成及びスケジュール管理を行うスケジュール管理手段とを備え、前記情報記録手段は、前記供給者端末及び前記需要者端末のうち少なくとも何れか一方から指定された任意の期間、前記供給情報及び前記需要情報のうち少なくとも一方の受信を継続して行うと共に、前記任意の期間前記供給情報及び前記需要情報のうち少なくとも何れか一方の記録を保持し、前記マッチング手段は、前記スケジュール作成画面に入力された前記供給者、及び／又は、前記需要者のスケジュール情報を、新たに受信した前記供給情報、及び／又は、新たに受信した前記需要情報とし、前記任意の期間既に受信済の前記供給情報及び前記需要情報のうち少なくとも何れか一方と、前記新たに受信した前記供給情報及び前記新たに受信した前記需要情報のうち少なくとも何れか一方との間で前記マッチングを行い、前記結果送信手段は、マッチングが未成立の前記供給情報及びマッチングが未成立の前記需要情報及びマッチングが行われた結果に基づく集計情報のうち少なくとも何れか一つを前記需要者端末及び前記供給者端末のうち少なくとも何れか一方に送信し、前記マッチング手段は、前記マッチングの結果を前記スケジュール管理手段に送り、前記スケジュール管理手段は、前記マッチングの結果を用いて前記スケジュール作成を行うことを特徴とする。

【0016】

本発明に係るプログラムは、コンピュータを、請求項1乃至7の何れか一つに記載のマッチング支援装置として機能させることを特徴とする。

【発明の効果】

【0017】

請求項1、請求項9に記載の発明によれば、情報記録手段は、供給者端末及び需要者端末のうち少なくとも何れか一方から指定された任意の期間、供給情報及び需要情報のうち少なくとも一方の受信を継続して行うと共に、任意の期間供給情報及び需要情報のうち少なくとも何れか一方の記録を保持し、マッチング手段は、任意の期間既に受信済の供給情報及び需要情報のうち少なくとも何れか一方と、新たに受信した供給情報及び需要情報のうち少なくとも何れか一方との間でマッチングを行うことにより、既に受信済で情報記録手段に記録された供給情報及び需要情報との間でのマッチングのみならず、随時更新される供給情報及び需要情報を用いてマッチングを行うことができる。これにより、情報の変

化を迅速かつ的確に反映した、需要情報と供給情報とのマッチングを実現することができる。

請求項 1、請求項 9 に記載の発明によれば、結果送信手段は、マッチングが未成立の供給情報及びマッチングが未成立の需要情報及びマッチングが行われた結果に基づく集計情報のうち少なくとも何れか一つを需要者端末及び供給者端末のうち少なくとも何れか一方に送信することにより、需要者端末を使用する需要者と、供給者端末を使用する供給者との双方に対し、現在マッチング成立を待っているサービスや商品の内容、現在マッチング成立を待っている需要者の希望等を知らしめて、供給情報の告知や、需要情報に即した供給情報の送信の促進を行うことができる。これにより、マッチングの成立可能性を高めることが可能になる。

10

【 0 0 1 8 】

請求項 2 に記載の発明によれば、マッチング手段は、任意の期間中、成立したマッチング情報を情報記録手段に記録して成立したマッチング情報を保持すると共に、成立したマッチング情報に係る需要情報及び供給情報のうち少なくとも何れか一方についてマッチングを継続して行い、マッチング手段は、任意の期間の期間中、又は任意の期間が終了した後において、結果送信手段によって供給者端末及び需要者端末のうち少なくとも何れか一方に送信され、供給者端末及び需要者端末のうち少なくとも何れか一方、及び/又は、供給者端末を使用する供給者及び需要者端末を使用する需要者のうち少なくとも何れか一方によって選択された、需要情報及び供給情報のうち少なくとも何れか一方について、取引が成立したものとして処理を行うことにより、供給者や需要者は、マッチングが成立した
需要情報や供給情報を任意の期間中一時的に保持しておいて、任意の期間の期間中、又は任意の期間が終了した後において、保持された需要情報や供給情報の中から最良のものを
選択でき、また、供給者や需要者が選択した需要情報や供給情報について取引を成立させることができる。これにより、供給者や需要者に対して、マッチングの条件に適合したサ
ービスや商品等の中から最良のものを選択して取引を成立させる機会を提供することが
できる。

20

【 0 0 1 9 】

請求項 3 に記載の発明によれば、マッチング手段は、任意の期間内であっても、供給者
端末及び需要者端末のうち少なくとも何れか一方からマッチングを終了させる旨の命令を
取得した時点でマッチングを終了させることにより、サービスや商品の供給者や需要者が
マッチングを希望しなくなった供給情報や需要情報について再度マッチングが行われて情
報処理や取引に支障をきたす事態を防止できる。これにより、的確な情報処理や取引を実
現すると共に、情報の変化を迅速かつ的確に反映した、需要情報と供給情報とのマッチ
ングを確実に実現することができる。

30

【 0 0 2 0 】

請求項 4 に記載の発明によれば、設定された任意の条件をトリガにして需要情報と供給
情報とのマッチングを行わせることができる。また、トリガ手段は、供給者端末及び需要
者端末のうち少なくとも何れか一方から、新たな供給情報、新たな需要情報、及び既得の
供給情報又は既得の需要情報を更新する更新情報のうち少なくとも何れか一つを取得した
場合に供給情報、需要情報、及び更新情報のうち少なくとも何れか一つをトリガとしてマ
ッチング手段にマッチングを行わせることにより、供給者側及び需要者側のうち少なく
とも何れか一方から送信される情報に生じた変化を迅速に反映させたマッチングを行い、情
報を提供した供給者及び需要者に迅速な取引機会を与えることができる。また、マッチ
ングの結果を逐次需要者端末及び供給者端末のうち少なくとも何れか一方に送信すること
により、需要者及び供給者に対し、マッチングの成立又は不成立に基づいた更なる取引機会
を、迅速かつ的確に与えることができる。

40

【 0 0 2 2 】

本発明に係るマッチング支援装置及びマッチング支援システムによれば、マッチング手
段は、マッチングの結果をスケジュール管理手段に送り、スケジュール管理手段は、マッ
チングの結果を用いてスケジュール作成を行うことにより、需要者や供給者のスケジュー

50

ル管理とマッチングとを連動させ、マッチングの結果を用いて需要者や供給者のスケジュールを作成することができる。これにより、需要情報と供給情報とのマッチングの結果に基づいてスケジュールを作成する際の利便性を向上させることができる。

【0023】

本発明に係るマッチング支援装置及びマッチング支援システムによれば、マッチング手段は、スケジュール管理手段の要求に基づいてマッチングを行うことにより、スケジュール作成の過程で必要になった需要情報や供給情報についてマッチングを行い、マッチングを成立させることが可能になる。特に、需要者端末や供給者端末に表示されたスケジュール作成画面からマッチングの要求を行える設定としておけば、需要者や供給者はスケジュール作成画面から、マッチング支援装置に対し、需要情報や供給情報のマッチングを要求することが可能になる。これにより、スケジュール内容に基づいて需要情報や供給情報のマッチングを要求する際の利便性を一層向上させることができる。

10

【0024】

請求項7に記載の発明によれば、需要者、及び/又は、供給者の予定対実績差異比率及び予定対実績差異比率に基づく計画信頼度を算出し、算出された予定対実績差異比率及び計画信頼度に基づいて、未来の需要計画情報、及び/又は、未来の供給計画情報、の信頼度および傾向値を計測するための統計情報を形成することにより、個々の需要者や個々の供給者が登録した取引計画に対して、現実にはどのような購買や供給が行われるのかについて、高確度、高確率の予測分析が可能になり、需要者や供給者が取引計画を立てる際の利便性を向上させることができる。

20

【0025】

請求項8に記載の発明によれば、統計情報の形成に、需要者の取引、及び/又は、供給者の取引、に対する第三者の評価を少なくとも含む各種情報を用いることにより、統計情報の精度を高め、個々の需要者や個々の供給者が登録した取引計画に対して、現実にはどのような購買や供給が行われるのかについて、一層高確度で、一層高確率の予測分析が可能になる。

【0026】

請求項10に記載の発明によれば、多様なコンピュータハードウェア上で本発明に係るマッチング支援装置を実現することができる。

【図面の簡単な説明】

30

【0027】

【図1】本発明の実施の形態に係るマッチング支援装置及びマッチング支援システムの全体構成を示すネットワーク構成及び機能ブロックを示す図である。

【図2】同上実施の形態に係るマッチング支援装置及びマッチング支援システムを構成するデータベースの概念図である。

【図3】同上実施の形態に係るマッチング支援装置及びマッチング支援システムを構成するデータベースに記録される供給情報のデータ構造を示す概念図である。

【図4】同上実施の形態に係るマッチング支援装置及びマッチング支援システムにおける、マッチングの処理手順を示すタイムチャートである。

【図5】同上実施の形態に係るマッチング支援装置及びマッチング支援システムにおける、マッチングの手順の主要部分を表したフローチャートである。

40

【図6A】同上実施の形態に係るマッチング支援装置及びマッチング支援システムにおける、需要情報をトリガとして行われるマッチングにおけるデータの遷移を模式的に示す図である。

【図6B】同上実施の形態に係るマッチング支援装置及びマッチング支援システムにおける、需要情報をトリガとして行われるマッチングにおけるデータの遷移を模式的に示す図である。

【図7A】同上実施の形態に係るマッチング支援装置及びマッチング支援システムにおける、供給情報をトリガとして行われるマッチングにおけるデータの遷移を模式的に示す図である。

50

【図 7 B】同上実施の形態に係るマッチング支援装置及びマッチング支援システムにおける、供給情報をトリガとして行われるマッチングにおけるデータの遷移を模式的に示す図である。

【図 8】同上実施の形態に係るマッチング支援装置及びマッチング支援システムにおける、需要者端末及び／又は供給者端末の表示部にログイン後のメニュー画面が表示された状態の概念図である。

【図 9】同上実施の形態に係るマッチング支援装置及びマッチング支援システムにおける、需要者端末及び供給者端末の表示部にリソース要件一覧画面が表示された状態の概念図である。

【図 10】同上実施の形態に係るマッチング支援装置及びマッチング支援システムにおける、供給者端末の表示部に供給リソース要件個別情報画面が表示された状態の概念図である。

10

【図 11】同上実施の形態に係るマッチング支援装置及びマッチング支援システムにおける、需要者端末及び供給者端末の表示部に週単位スケジュール表示画面が表示された状態の概念図である。

【図 12】同上実施の形態に係るマッチング支援装置及びマッチング支援システムにおける、需要者端末の表示部に日単位スケジュール表示画面が表示された状態の概念図である。

【図 13】同上実施の形態に係るマッチング支援装置及びマッチング支援システムにおける、供給者端末の表示部に供給情報確認画面が表示された状態の概念図である。

20

【図 14】同上実施の形態に係るマッチング支援装置及びマッチング支援システムにおける、需要者端末の表示部に需要情報確認画面が表示された状態の概念図である。

【図 15】同上実施の形態に係るマッチング支援装置及びマッチング支援システムにおける、需要者端末及び供給者端末の表示部にマッチング結果新着情報画面が表示された状態の概念図である。

【図 16】同上実施の形態に係るマッチング支援装置及びマッチング支援システムにおける、供給者端末の表示部にイベント単位スケジュール表示画面が表示された状態の概念図である。

【図 17】同上実施の形態に係るマッチング支援装置及びマッチング支援システムにおける、需要者端末の表示部にイベント単位スケジュール表示画面が表示された状態の概念図である。

30

【図 18】同上実施の形態に係るマッチング支援装置及びマッチング支援システムにおける、供給者端末の表示部にイベント単位マッチング結果一覧画面が表示された状態の概念図である。

【図 19】同上実施の形態に係るマッチング支援装置及びマッチング支援システムにおける、需要者端末の表示部にイベント単位マッチング結果一覧画面が表示された状態の概念図である。

【図 20】同上実施の形態に係るマッチング支援装置及びマッチング支援システムにおける、供給者端末の表示部にマッチング結果個別情報画面が表示された状態の概念図である。

40

【図 21】同上実施の形態に係るマッチング支援装置及びマッチング支援システムにおける、需要者端末の表示部にマッチング結果個別情報画面が表示された状態の概念図である。

【図 22】同上実施の形態に係るマッチング支援システムにおける、需要者端末の表示部に月単位スケジュール表示画面が表示された状態の概念図である。

【発明を実施するための形態】

【0028】

図 1 乃至図 22 に本発明の実施の形態を示す。

【0029】

< ネットワーク及び機能の基本構成 >

50

図 1 は、この発明の実施の形態に係るマッチング支援装置 1 及びマッチング支援システム 1 A の全体構成を示すネットワーク及び機能ブロックを示す図である。以下、これに基づいてマッチング支援システム 1 A のネットワーク及び機能の基本構成を説明する。

【 0 0 3 0 】

マッチング支援システム 1 A は、マッチング支援装置 1、 n 台 ($n \geq 1$) の供給者端末 $2_1, \dots, 2_n$ 、 m 台 ($m \geq 1$) の需要者端末 $3_1, \dots, 3_m$ を備えている。マッチング支援装置 1 と供給者端末 $2_1, \dots, 2_n$ 、及び需要者端末 $3_1, \dots, 3_m$ は、ネットワーク 4 を介して相互に通信可能である。このネットワーク 4 は、ネットワーク装置、サーバ、PC、スマホ、携帯電話等、構成装置種別の如何に関わらず相互に通信可能に接続するデータ通信手段である。具体的には、例えばインターネットが考えられるが、これに限定されない。即ち、ネットワーク 4 は、オープンかクローズドかを問わずあらゆるネットワーク形態であってよいし、LAN か WAN か等を問わずあらゆるネットワーク領域であってよい。

【 0 0 3 1 】

なお、このマッチング支援システム 1 A においては、ひとつの端末が供給者端末 (例えば供給者端末 2_1) 及び需要者端末 (例えば需要者端末 3_1) として併用される場合もある (後述の [端末の表記] 参照) が、この < ネットワーク及び機能の基本構成 > 及び < データの基本構成 > においては、説明の簡単のため、併用される場合を含めずに、ひとつの端末が、供給者端末 $2_1, \dots, 2_n$ のそれぞれとして、又は、需要者端末 $3_1, \dots, 3_m$ のそれぞれとして機能する場合において説明する。

【 0 0 3 2 】

図 1 に示すマッチング支援システム 1 A は、サービスや物品等についての、需要者の需要情報 1 1 2 a (図 2 参照) と供給者の供給情報 1 1 1 a (図 2 参照) とのマッチングを行うために用いられる。なお、ここでの供給者及び需要者は、それぞれ、いわゆる B to B、B to C、C to C の一方当事者である。即ち、マッチング支援システム 1 A は、企業間取引、企業対個人の取引、個人対個人の取引の何れにおいても用いられる。

【 0 0 3 3 】

また、マッチング支援システム 1 A は、供給者や需要者のスケジュール管理を行うためにも用いられる。具体的には、マッチング支援システム 1 A は、それぞれの供給者やそれぞれの需要者から提供されたスケジュール等に基づきスケジュール情報 1 1 1 b (図 2 参照) 及び / 又はスケジュール情報 1 1 2 b (図 2 参照) を記録したり、記録したスケジュール情報 1 1 1 b、1 1 2 b に基づくりマインダ情報 (図示せず) を供給するために用いられる。また、マッチングの結果を、スケジュール情報 1 1 1 b 及び / 又はスケジュール情報 1 1 2 b に反映させるためにも用いられる。

【 0 0 3 4 】

さらに、マッチング支援システム 1 A は、スケジュール管理の機能とマッチングの機能を連動させることもできる。具体的には、供給者や需要者によって記録されたスケジュール情報 1 1 1 b、1 1 2 b に基づいて供給情報 1 1 1 a と需要情報 1 1 2 a とのうちの一方又は双方のマッチングを行うために用いられる。

【 0 0 3 5 】

図 1 に示す、マッチング支援装置 1 は、需要者の需要情報 1 1 2 a と供給者の供給情報 1 1 1 a とのマッチングを図るサーバコンピュータであり、需要者端末 $3_1, \dots, 3_m$ から送信され登録された需要情報 1 1 2 a と供給者端末 $2_1, \dots, 2_n$ から送信され登録された供給情報 1 1 1 a とのマッチングを行うために用いられる。また、マッチング支援装置 1 は、スケジュール管理を行うためのサーバコンピュータでもあり、それぞれの需要者端末 $3_1, \dots, 3_m$ やそれぞれの供給者端末 $2_1, \dots, 2_n$ から入力されたスケジュール等に基づいてスケジュール情報 1 1 1 b、1 1 2 b を記録したり、記録されたスケジュール情報 1 1 1 b、1 1 2 b に基づいて需要者端末 $3_1, \dots, 3_m$ や供給者端末 $2_1, \dots, 2_n$ にリマインダ情報 (図示せず) を送信するために用いられる。更に、マッチング支援装置 1 は、記録されたスケジュール情報 1 1 1 b、1 1 2 b に基づいて、供

給情報 1 1 1 a と需要情報 1 1 2 a とのうちの一方又は双方のマッチングを行うために用いられる。なお、マッチング支援装置 1 は一台のコンピュータにより形成されていてもよいし、ネットワーク 4 で相互に接続された複数台のコンピュータシステムによって形成されていてもよい。

【0036】

マッチング支援装置 1 は、図示しないが、少なくとも 1 の CPU (Central Processing Unit、中央処理装置)、及び、CPU の作業領域として機能する RAM (Random Access Memory)、起動用ブートプログラム等が記録された ROM (Read Only Memory)、各種プログラムやデータ等が記録されるハードディスク等の補助記憶装置、データの送受信に用いる通信インターフェース等が設けられている。補助記憶装置には、OS (Operating System) 用プログラム、各種アプリケーションプログラム、データベース 1 1 a (図 2 参照) に記録されたデータ等が記録されている。これらのプログラムやデータは CPU の演算処理により、ハードウェア資源と協働して各種機能を実現する。

【0037】

図 1 に示す、供給者端末 $2_1, \dots, 2_n$ は、操作部 $21_1, \dots, 21_n$ 、表示部 $22_1, \dots, 22_n$ を有する。供給者端末 $2_1, \dots, 2_n$ は、各種サービスの提供や各種物品の販売等、サービスや物品等を供給する供給者が使用する、データ通信機能を有する通信端末であって、パーソナルコンピュータ、いわゆるスマートフォンを含む携帯電話端末等がこれに該当する。操作部 $21_1, \dots, 21_n$ は、マウスやキーボード等各種指示を入力するために用いられる。表示部 $22_1, \dots, 22_n$ は、LCD (Liquid Crystal Display) 等からなり操作部 $21_1, \dots, 21_n$ から入力された各種指示等や各種画像を表示する。なお、操作部 $21_1, \dots, 21_n$ は表示部 $22_1, \dots, 22_n$ 上のタッチパネル機能として構成されていてもよい。

【0038】

図 1 に示す、需要者端末 $3_1, \dots, 3_m$ は、操作部 $31_1, \dots, 31_m$ 、表示部 $32_1, \dots, 32_m$ を有する。需要者端末 $3_1, \dots, 3_m$ は、サービスの提供及び物品の有償又は無償の譲渡等を求める需要者が使用する、データ通信機能を有する通信端末であって、パーソナルコンピュータ、いわゆるスマートフォンを含む携帯電話端末等がこれに該当する。操作部 $31_1, \dots, 31_m$ 、表示部 $32_1, \dots, 32_m$ は、供給者端末 $2_1, \dots, 2_n$ の操作部 $21_1, \dots, 21_n$ 、表示部 $22_1, \dots, 22_n$ と同様の構成を有する。

【0039】

なお、供給者端末 $2_1, \dots, 2_n$ 、操作部 $21_1, \dots, 21_n$ 、表示部 $22_1, \dots, 22_n$ 、需要者端末 $3_1, \dots, 3_m$ 、操作部 $31_1, \dots, 31_m$ 、表示部 $32_1, \dots, 32_m$ は同じ構成を持つので、以下、区別する必要がある場合を除き、供給者端末 2、操作部 21、表示部 22、需要者端末 3、操作部 31、表示部 32 とする。

【0040】

図 1 に示す通り、マッチング支援装置 1 は、上述した各種プログラムとハードウェア資源とに基づいて実現される機能手段を有する。具体的には、「情報記録手段」としての情報記録部 11、「マッチング手段」としてのマッチング部 12、「トリガ手段」としてのトリガ部 13、「結果送信手段」としての結果送信部 14、及び、「スケジュール管理手段」としてのスケジュール管理部 15 を備えている。

【0041】

図 1 に示す、情報記録部 11 は、供給者端末 2 から送信されたサービスや物品等の供給情報 1 1 1 a、需要者端末 3 から送信されたサービスや物品等の需要情報 1 1 2 a、供給者端末 2 及び / 又は需要者端末 3 から送信された各種情報を取得し、供給情報 1 1 1 a 及び需要情報 1 1 2 a 及びスケジュール情報 1 1 1 b、1 1 2 b を記録する。

【0042】

情報記録部 11 は、データベース 1 1 a とデータベース管理装置 (図示せず) とからな

10

20

30

40

50

る。データベース 11a は、マッチングやスケジュール管理のための各種のデータが記録される。データベース管理装置（図示せず）は、データベース 11a を管理し、また、供給者端末 2 及び / 又は需要者端末 3 から、供給情報 111a 及び / 又は需要情報 112a や、スケジュール情報 111b 及び / 又はスケジュール情報 112b や、リソース要件情報 111c（図 2 参照）及び / 又はリソース要件情報 112c（図 2 参照）に関するデータに対して行われる各種のアクセス要求に応える機能を有する。

【0043】

マッチング部 12 は、言語解析によるキーワード抽出処理等を行う言語解析エンジン、様々な情報の単一要素（例えば品詞であれば「名詞」「形容詞」等の個々の要素のこと）を複数のカテゴリーに分類する処理を行う分類エンジン、様々な情報の単一要素及び複合要素間の関係類推やマッチング処理を行うマッチングエンジン等を備え、供給者端末 2 から送信された、サービスや物品等の供給情報 111a と、需要者端末 3 から送信されたサービスや物品等の需要情報 112a とを取得して、需要情報 112a と供給情報 111a とのマッチングを行う。なお、マッチング部 12 が取得した需要情報 112a と供給情報 111a とは、情報記録部 11 に共に記録されていてもよい。また、マッチング部 12 がマッチングに用いる供給情報 111a 及び / 又は需要情報 112a は、情報記録部 11 に記録されたものを用いてもよいし、供給者端末 2 から取得された供給情報 111a 及び / 又は需要者端末 3 から取得された需要情報 112a をそのまま用いてもよい。

【0044】

トリガ部 13 は、任意の条件の適合状況を監視して該任意の条件に適合した場合に該適合をトリガ（イベント実行の契機のこと。本明細書において同じ）としてマッチング部 12 にマッチングを行わせる。トリガ部 13 は、管理情報 113（図 2 参照）のトリガ情報 113a（図 2 参照）をトリガとして用いる。

【0045】

結果送信部 14 は、マッチング部 12 におけるマッチングの結果を供給者端末 2 及び需要者端末 3 に送信する。結果送信部 14 は、マッチングの結果や、需要者端末 3 の設定情報等に基づいて、需要者端末 3 の趣向に沿う可能性が高いと判定された、おすすめ情報の送信等を行うリコメンドエンジンを有している。また、結果送信部 14 は、リコメンドエンジンの機能を用いて、マッチングが未成立の供給情報 111a 及びマッチングが未成立の需要情報 112a のうち少なくとも何れか一方を需要者端末 3 及び供給者端末 2 のうち少なくとも何れか一方に送信する。

【0046】

スケジュール管理部 15 は、様々な情報の単一要素及び複合要素からなるスケジュールを時間軸上に展開したスケジュール情報 111b, 112b を作成、及び作成したスケジュール情報 111b, 112b の記録を行うスケジュールエンジンを備えている。スケジュール管理部 15 は、時系列に沿ったスケジュール作成機能及びスケジュール管理機能を有し、需要者端末 3 を使用する需要者及び供給者端末 2 を使用する供給者のうち少なくとも何れか一方の、スケジュール情報 111b 及び / 又はスケジュール情報 112b を用いて、スケジュール作成及びスケジュール管理を行う。また、スケジュール管理部 15 は、需要者端末 3 を使用する需要者及び供給者端末 2 を使用する供給者のうち少なくとも何れか一方のスケジュール情報 111b 及び / 又はスケジュール情報 112b を記録する。また、スケジュール管理部 15 は、スケジュール情報 111b, 112b の作成や変更に必要なさまざまな処理を行うための、タイムマネジメント機能を有する。

【0047】

〔リソース要件情報〕

データの基本構成の説明より先に、本明細書における「リソース要件情報」について説明する。

【0048】

本明細書における「リソース要件情報」とは、マッチングにおけるリソース（供給者によって提供される供給資源のこと）そのものではなく、需要者及び / 又は供給者がマッ

10

20

30

40

50

ングの要件とする情報の中で、資源及び／又は資質に係る要件情報である。

【 0 0 4 9 】

例えば、供給者によって提供されるリソース要件情報は、供給可能なリソースの最小構成単位の要件情報等を指す。ここで、「供給可能なリソースの最小構成単位の要件情報」とは、例えば、供給者がレストランの経営者である場合、当該レストランに存在する「第1卓：5人席」「第2卓：10人席」「第3卓：15人席」・・・といったような情報がこれに該当する。また、リソース要件情報には、広義のリソースとして、供給要件を構成する際に恒常的に使用される供給者のリソースに関連するデフォルト情報や、リソースを補足する情報が含まれる場合もある。具体的には、例えば、供給者がレストランの経営者である場合、当該レストランの系列店の情報やグループ会社の情報や、また、例えば、供給者が個人の場合には、個々の供給者の個人情報や提供可能なスキルの情報等がこれに該当する。

10

【 0 0 5 0 】

また例えば、需要者によって提供されるリソース要件情報は、広義のリソースとして、需要要件を構成する際に恒常的に使用される、需要者のデフォルト情報等を指す。具体的には、例えば、個々の需要者の個人情報や所在情報や趣味趣向の情報等がこれに該当する。

【 0 0 5 1 】

< データの基本構成 >

図2はマッチング支援装置1を構成するデータベース11aの概念図、図3はデータベース11aに記録される供給情報111aのデータ構造を示す概念図である。以下これらに基づいて、データの基本構成を説明する。

20

【 0 0 5 2 】

図2に示す通り、データベース11aには、供給者側情報111、需要者側情報112、管理情報113、個人情報114が記録される。

【 0 0 5 3 】

供給者側情報111は、供給情報111a、スケジュール情報111b、リソース要件情報111cを有する。

【 0 0 5 4 】

リソース要件情報111cは、上述の「リソース要件情報」のうち、供給者から提供されるものである。

30

【 0 0 5 5 】

スケジュール情報111bは、供給者端末2を使用する供給者のスケジュールに関する情報である。

【 0 0 5 6 】

供給情報111aは、供給者側から送信されてマッチング支援装置1に登録された、リソースに関する情報を含む供給要件情報であり、需要情報112aとのマッチングに用いられる（詳しくは後述する）。供給情報111aは、リソース要件情報111cの全部ないし一部を（例えば複製により）取得した情報と、供給者端末2から送信された、個々のリソース等（需要者及び／又は供給者がマッチングの対象としうる物品、サービス、情報等であって、リソース及び／又はリソース以外のもののこと。本明細書において同じ。）の供給に関する情報とが組み合わされた状態で生成され、登録される。

40

【 0 0 5 7 】

なお、ここでの、供給情報111aが「供給者から送信され」た状態とは、この実施の形態における、供給情報111aを生成するためのリソース要件情報111cが、供給者によって供給者端末2から送信された状態（後述する<動作手順1>のステップS1参照）と、供給者によって、供給者端末2から（リソース要件情報111cとしてではなく、供給情報111a自体として）直接送信された状態（後述する<動作手順2>のステップS2参照。）の双方が含まれる。

【 0 0 5 8 】

50

なお、供給情報 1 1 1 a には、任意の需要情報 1 1 2 a とのマッチングが成立した結果としてのマッチング結果情報 1 1 1 a a (図 6 B 参照) も含まれる。

【0059】

需要者側情報 1 1 2 は、需要情報 1 1 2 a、スケジュール情報 1 1 2 b、リソース要件情報 1 1 2 c を有する。

【0060】

リソース要件情報 1 1 2 c は、上述の「リソース要件情報」のうち、需要者から提供されるものである。

【0061】

スケジュール情報 1 1 2 b は、需要者端末 3 を使用する需要者のスケジュールに関する情報である。

【0062】

需要情報 1 1 2 a は、需要者端末 3 から送信されてマッチング支援装置 1 に登録された、リソースに関する情報を含む需要要件情報であり、供給情報 1 1 1 a とのマッチングに用いられる(詳しくは後述する)。需要情報 1 1 2 a は、リソース要件情報 1 1 2 c の全部ないし一部を取得して用いた(例えば複製した)情報と、需要者端末 3 によって需要者から送信された、リソース等に対する需要者の需要に関する情報とが組み合わされた状態で生成され、登録される。但し、需要情報 1 1 2 a は、リソース要件情報 1 1 2 c の全部ないし一部を取得して用いた情報と、需要者端末 3 によって需要者から送信された、リソース等に対する需要者の需要に関する情報とのうち何れか一方によって生成されてもよい。

【0063】

なお、ここでの、需要情報 1 1 2 a が「需要者から送信され」た状態とは、この実施の形態における、需要情報 1 1 2 a を生成するためのリソース要件情報 1 1 2 c 等が、需要者によって、需要者端末 3 から送信された状態(後述する<動作手順 2>のステップ S 1 参照)と、需要者によって、需要者端末 3 から(リソース要件情報 1 1 2 c としてではなく、需要情報 1 1 2 a 自体として)直接送信された状態(後述する<動作手順 1>のステップ S 2 参照)との双方が含まれる。

【0064】

なお、需要情報 1 1 2 a には、任意の供給情報 1 1 1 a とのマッチングが成立した結果としてのマッチング結果情報 1 1 2 a a (図 7 B 参照) も含まれる。

【0065】

管理情報 1 1 3 は、トリガ情報 1 1 3 a を有する。トリガ情報 1 1 3 a は、供給情報 1 1 1 a や需要情報 1 1 2 a のマッチングの契機となる情報の記録や、マッチング支援装置 1 が取得した、マッチングの契機となる情報のログ情報などである。

【0066】

個人情報 1 1 4 は、ユーザー情報 1 1 4 a、契約情報 1 1 4 b、履歴情報 1 1 4 c を有する。ユーザー情報 1 1 4 a は、マッチング支援システム 1 A を利用するユーザー(供給者端末 2 を利用する供給者や需要者端末 3 を利用する需要者を含む)の情報(個人情報等)を有する。契約情報 1 1 4 b は、マッチング支援システム 1 A を利用するユーザーの契約情報を有する。履歴情報 1 1 4 c は、マッチング支援システム 1 A を利用するユーザーのシステム利用履歴を有する。

【0067】

供給情報 1 1 1 a について詳細に説明する。

【0068】

図 3 に示す通り、供給情報 1 1 1 a は、検索補助情報 1 1 1 a 1 0、情報本体 1 1 1 a 2 0、マッチングステータス情報 1 1 1 a 3 0 を有する。

【0069】

検索補助情報 1 1 1 a 1 0 は、供給情報 1 1 1 a の分類や検索等に必要な各種情報であって、分類情報 1 1 1 a 1 1、タグ情報 1 1 1 a 1 2、時間情報 1 1 1 a 1 3、検索ワー

10

20

30

40

50

ド情報 1 1 1 a 1 4 を有する。

【 0 0 7 0 】

分類情報 1 1 1 a 1 1 は、情報本体 1 1 1 a 2 0 を分類するための各種情報である。タグ情報 1 1 1 a 1 2 は、情報本体 1 1 1 a 2 0 を補足するための各種情報（例：供給情報 1 1 1 a の価格や品質等）である。時間情報 1 1 1 a 1 3 は、過去、現在、未来のいずれかにおけるサービスが供給される時間（過去、現在、未来のいずれかにおけるマッチングが行われる日時など）に関する情報である。検索ワード情報 1 1 1 a 1 4 は、供給情報 1 1 1 a ごとに設定されてマッチングに用いられる一又は複数の検索ワードである。

【 0 0 7 1 】

時間情報 1 1 1 a 1 3 は、スケジュール情報 1 1 1 b から取得された、供給情報 1 1 1 a が規定する日時の情報等であって、供給情報 1 1 1 a に基づいて生成される。

10

【 0 0 7 2 】

ここで、時間情報 1 1 1 a 1 3 として記録されうる期間としては、以下（期間 1 ）乃至（期間 3 ）に示すものが考えられる。

（期間 1 ）供給要件期間

これは、供給者が、供給情報 1 1 1 a として登録する、モノ・コトを提供したい期間のことである。例えば、供給情報 1 1 1 a が貸し会議室の貸し出しに関する情報である場合、この貸し会議室が貸し出される日や時間帯がこれに相当する。

（期間 2 ）情報受付期間

これは、マッチング支援装置 1 及びマッチング支援システム 1 A が、供給要件期間に対応する情報の配信を受付ける期間のことである。例えば、供給情報 1 1 1 a が貸し会議室の貸し出しに関する情報である場合、この貸し会議室の貸し出しの要件に対応する需要情報 1 1 2 a が、マッチング支援装置 1 及びマッチング支援システム 1 A によって供給者端末 2 等に対して配信される期間がこれに相当する。

20

この実施の形態においては、情報受付期間を供給要件期間や後述するマッチング期間と別に規定し、それぞれを供給者端末 2 を使用する供給者によって設定可能とすることができる。これにより、供給者側において、供給情報 1 1 1 a に対して需要者等から送信される需要情報 1 1 2 a 等の数量を調節することができる効果を奏する。例えば、供給情報 1 1 1 a が貸し会議室の貸し出しに関する情報であり、この貸し会議室が貸し出される日や時間帯が数ヶ月先である場合、情報受付期間の開始を遅く設定したり期間を短く設定したりすることで、この供給情報 1 1 1 a に対して送信される需要情報 1 1 2 a の数量が過多になることを抑止できる。また、後述するマッチング期間の開始前や終了後も情報受付期間を設定することにより、供給者端末 2 を用いる供給者や需要者端末 3 を用いる需要者が、マッチングの開始前や終了後であって情報受付期間の期間内において、マッチングの対象である供給情報 1 1 1 a や需要情報 1 1 2 a に関する情報の送受信を受け付けて、供給者と需要者と相互間、あるいは供給者同士や需要者同士の情報交換を行うことなどが可能になる。

30

（期間 3 ）マッチング期間

これは、マッチング部 1 2 によって行われる、供給情報 1 1 1 a のマッチングが、開始してから終了するまでの期間のことである。

40

この実施の形態においては、マッチング期間は、情報受付期間や供給要件期間と別に規定し、それぞれを供給者端末 2 を使用する供給者によって設定可能とすることができる。これにより、供給情報 1 1 1 a と需要情報 1 1 2 a とのマッチングが行われる期間と、供給情報 1 1 1 a に対してマッチング支援装置 1 及びマッチング支援システム 1 A を使用する需要者等から種々の情報が寄せられる期間とを別途規定して供給者の利便性を高めることができる効果を奏する。

【 0 0 7 3 】

情報本体 1 1 1 a 2 0 は、情報本体部 1 1 1 a 2 1、供給者情報 1 1 1 a 2 2 を有する。情報本体部 1 1 1 a 2 1 は、供給情報 1 1 1 a を構成する情報の本体部分である。情報本体部 1 1 1 a 2 1 は、供給者によって供給されるリソース等の具体的な内容によって構

50

成されるものであり、主として、リソース要件情報 1 1 1 c のうち全部又は一部が取得されて用いられることで生成される。供給者情報 1 1 1 a 2 2 は、供給者端末 2 を利用する供給者に関する各種情報（個人情報等）を有する。

【 0 0 7 4 】

マッチングステータス情報 1 1 1 a 3 0 は、ウォッチ情報 1 1 1 a 3 1 を有する。ウォッチ情報 1 1 1 a 3 1 は、供給情報 1 1 1 a にマッチングを行おうとしたユーザーや、マッチングを行ったユーザー（需要者端末 3 の使用者である需要者など）に関する情報を有する。

【 0 0 7 5 】

ここで、データベース 1 1 a に記録された状態において、供給情報 1 1 1 a は、時間情報 1 1 1 a 1 3 を有する場合もあるし、有しない場合もある。上述の通り、供給情報 1 1 1 a はリソース要件情報 1 1 1 c の全部又は一部を用いて生成されるものであり、リソース要件情報 1 1 1 c は、性質上、リソース等が提供される時間を規定するための情報を有しない場合がある（例えば、供給者がレストランの経営者である場合、リソース要件情報 1 1 1 c は、当該レストランに存在するテーブル数と座席数のみを規定する場合がある）ためである。

【 0 0 7 6 】

もし、リソース等が提供される時間を規定するための情報を有しないリソース要件情報 1 1 1 c を用いて、リソース等が提供される時間（例えば、供給者がレストランの経営者である場合、当該レストランの営業日、営業時間、それぞれの席の予約時間に関する情報、等）を規定する情報を有する供給情報 1 1 1 a が生成される場合には、当該リソース等が提供される時間を規定する情報をスケジュール情報 1 1 1 b から取得して、この取得した情報を供給情報 1 1 1 a の時間情報 1 1 1 a 1 3 として供給情報 1 1 1 a に加えることで、時間情報 1 1 1 a 1 3 を有する供給情報 1 1 1 a を生成する。なお、リソース等が提供される時間を規定する情報をスケジュール情報 1 1 1 b 以外のいかなる構成から取得して供給情報 1 1 1 a の時間情報 1 1 1 a 1 3 として用いてもよい。

【 0 0 7 7 】

なお、図示しないが、需要情報 1 1 2 a も図 3 に示す供給情報 1 1 1 a と同様のデータ構造を有している。需要情報 1 1 2 a の情報本体（図示せず、供給情報 1 1 1 a の情報本体 1 1 1 a 2 0 （図 3 参照）に対応）は、リソース要件情報 1 1 2 c の全部又は一部を用いた情報によって生成された需要者情報（図示せず、供給情報 1 1 1 a の供給者情報 1 1 1 a 2 2 （図 3 参照）に対応）や、個々の需要要件（例えば、レストランでの会食、会議、旅行、等の具体的な需要内容、場所、金額等の希望条件、等）によって生成された情報本体部（図示せず、供給情報 1 1 1 a の情報本体部 1 1 1 a 2 1 （図 3 参照）に対応）を含めた情報として生成される。

【 0 0 7 8 】

ここで、データベース 1 1 a に記録された状態において、需要情報 1 1 2 a は、原則、時間情報 1 1 2 a 1 3 （図 7 B 参照）を有する。需要者の需要要件には原則として、例えば「 時から x 時まで会議」のように時間を規定する情報が含まれるためである。そして、時間情報 1 1 2 a 1 3 （図 7 B 参照）は、個々の需要情報 1 1 2 a において、需要者がリソース等の利用を希望する日時に関する情報によって生成される。ただし、需要情報 1 1 2 a の元となる需要要件の内容によっては、需要情報 1 1 2 a が時間情報 1 1 2 a 1 3 （図 7 B 参照）を有していなくてもよい。

【 0 0 7 9 】

ここで、時間情報 1 1 2 a 1 3 として記録されうる期間としては、以下（期間 4 ）乃至（期間 6 ）に示すものが考えられる。

（期間 4 ）需要要件期間

これは、需要者が、需要情報 1 1 2 a として登録する、モノ・コトの提供を受けたい期間のことである。例えば、需要情報 1 1 2 a が少人数の会食に関する情報である場合、この会食を開催する希望時間帯がこれに相当する。

10

20

30

40

50

(期間 5) 情報受付期間

これは、マッチング支援装置 1 及びマッチング支援システム 1 A が、需要要件期間に対応する情報の配信を受付ける期間のことである。例えば、需要情報 1 1 2 a が少人数の会食に関する情報である場合、この会食の要件に対応する供給情報 1 1 1 a が、マッチング支援装置 1 及びマッチング支援システム 1 A によって需要者端末 3 等に対して配信される期間がこれに相当する。この実施の形態においては、情報受付期間を需要要件期間や後述するマッチング期間と別に規定し、それぞれを需要者端末 3 を使用する需要者によって設定可能とすることができる。これにより、(期間 2) の情報受付期間と同様の効果を奏することができる。

(期間 6) マッチング期間

これは、マッチング部 1 2 によって行われる、需要情報 1 1 2 a のマッチングが、開始してから終了するまでの期間のことである。この実施の形態においては、マッチング期間は、情報受付期間や需要要件期間と別に規定し、それぞれを需要者端末 3 を使用する需要者によって設定可能とすることができる。これにより、(期間 3) のマッチング期間と同様の効果を奏することができる。

【 0 0 8 0 】

需要情報 1 1 2 a の時間情報 1 1 2 a 1 3 は、需要者がリソース要件情報 1 1 1 c を登録する際に、このリソース要件情報 1 1 1 c に含まれていてもよいし、需要情報 1 1 2 a が生成される際に、その需要情報 1 1 2 a に対応する時間を規定する情報をスケジュール情報 1 1 2 b から取得して用いてもよい。また、需要情報 1 1 2 a に対応する時間を規定する情報をスケジュール情報 1 1 2 b 以外のいかなる構成から取得して用いてもよい。

【 0 0 8 1 】

なお、データベース 1 1 a には一又は複数の供給情報 1 1 1 a、一又は複数の需要情報 1 1 2 a、一又は複数のリソース要件情報 1 1 1 c、一又は複数のリソース要件情報 1 1 2 c が記録されるが、以下、特に区別のある場合を除き、数量の如何を問わず「供給情報 1 1 1 a」「需要情報 1 1 2 a」「リソース要件情報 1 1 1 c」「リソース要件情報 1 1 2 c」と記載する。

【 0 0 8 2 】

また、どの情報を供給情報 1 1 1 a やリソース要件情報 1 1 1 c とし、どの情報を需要情報 1 1 2 a やリソース要件情報 1 1 2 c とするかは、マッチング支援装置 1 に予め設定されている。例えば、この実施の形態においては、貸し会議室やレンタルホール等の提供情報は供給情報 1 1 1 a で、それらの貸与の申込情報は需要情報 1 1 2 a である。また、就労希望情報は供給情報 1 1 1 a で、雇用情報は需要情報 1 1 2 a である。ただし、供給者端末 2 及び / 又は需要者端末 3 を使用する供給者及び / 又は需要者が、マッチングに供する情報を登録する際に、供給情報 1 1 1 a として登録するのか、需要情報 1 1 2 a として登録するのかを選択することもできる。

【 0 0 8 3 】

< マッチングの処理手順 >

図 4 は、この実施の形態のマッチング支援装置 1 における、マッチングの処理手順を示すタイムチャートである。図 5 はマッチング支援装置 1 におけるマッチングの手順の詳細を示すフローチャートである。図 6 A 及び図 6 B、並びに図 7 A 及び図 7 B はマッチングに伴う情報の遷移を模式的に示す図である。以下、これらの図、並びに、供給者端末 2 及び / 又は需要者端末 3 に表示される画面概念図に基づいて処理手順を説明する。

【 0 0 8 4 】

[端末の表記について]

以下に示す処理手順において、情報の種類や手順に応じて、一の端末が供給者端末 2 として用いられて、一の画面に供給者端末 2 に表示される情報のみ、又は、需要者端末 3 に表示される情報のみが表示される場合もある。一方、一の端末が供給者端末 2 及び需要者端末 3 として用いられ、一の画面に供給者端末 2 に表示される情報と需要者端末 3 に表示される情報とが一緒に表示される場合もある。以下の記載では、それらを下記 (1) ~ (4

10

20

30

40

50

）のように表記する。

（１）一の端末が供給者端末２として用いられる場合：一の端末を「供給者端末２」、一の操作部を「操作部２１」、一の表示部を「表示部２２」と表記する。

（２）一の端末が需要者端末３として用いられる場合：一の端末を「需要者端末３」、一の操作部を「操作部３１」、一の表示部を「表示部３２」と表記する。

（３）一の端末が供給者端末２及び需要者端末３として用いられ、一の画面に供給者端末２に表示される情報と需要者端末３に表示される情報とが一緒に表示される場合：一の端末を「供給者端末２及び需要者端末３」、一の操作部を「操作部２１及び操作部３１」、一の表示部を「表示部２２及び表示部３２」と表記する。

（４）一の端末が供給者端末２及び／又は需要者端末３として用いられる場合：一の端末を「供給者端末２及び／又は需要者端末３」、一の操作部を「操作部２１及び／又は操作部３１」、一の表示部を「表示部２２及び／又は表示部３２」と表記する。

10

【００８５】

〔端末の使用者について〕

以下に示す処理手順において、情報の種類や手順に応じて、情報の種類や手順に応じて、一の端末の使用者を下記（５）～（８）のように表記する。

（５）一の端末が上述の「供給者端末２」である場合：端末の使用者を「供給者」と表記する。

（６）一の端末が上述の「需要者端末３」である場合：端末の使用者を「需要者」と表記する。

20

（７）一の端末が上述の「供給者端末２及び需要者端末３」である場合：端末の使用者を「供給者及び需要者」と表記する。

（８）一の端末が上述の「供給者端末２及び／又は需要者端末３」である場合：端末の使用者を「供給者及び／又は需要者」と表記する。

【００８６】

〔「取引等」について〕

この実施の形態において「取引等」とは、商品の譲渡、及び／又は、サービスの提供、及び／又は、決済を伴う行為全般について、実行可能な状態の形成と、そのような状態を形成するために、需要者端末３を使用する需要者、供給者端末２を使用する供給者、供給者端末２及び需要者端末３を使用する供給者及び需要者が、他の需要者、及び／又は、他の供給者、及び／又は、他の供給者及び需要者に対し、情報提供、及び／又は、情報の交換が可能な状態とすることを示す。

30

【００８７】

〔予備手順１．メニュー画面表示〕

マッチング支援システム１Ａを使用する供給者や需要者は、供給者端末２及び／又は需要者端末３を用いてマッチング支援装置１にアクセスする。マッチング支援装置１がログイン機能を有する場合は、供給者端末２を使用する供給者及び／又は需要者端末３を使用する需要者は、供給者端末２の操作部２１及び／又は需要者端末３の操作部３１を操作してログイン処理を行う。

【００８８】

40

アクセスやログインにより、供給者端末２及び／又は需要者端末３の表示部２２及び／又は表示部３２にはまず図８に概念図を示すメニュー画面４１が表示される。メニュー画面４１には、マッチング支援装置１が供給者や需要者に提供するサービスを選択したり、サービスに必要な情報を登録したり表示させたりするためのボタンが表示される。

【００８９】

〔予備手順２．事前登録〕

マッチング支援装置１を使用する供給者、又は、供給者及び需要者は、供給者端末２、又は、供給者端末２及び需要者端末３を用いてリソース要件情報１１１ｃ及び／又はリソース要件情報１１２ｃを登録する。

【００９０】

50

例えば、供給者端末 2 の表示部 2 2、又は、供給者端末 2 及び需要者端末 3 の表示部 2 2 及び表示部 3 2 に、図 8 に示すメニュー画面 4 1 を表示させてリソース要件情報ボタン 4 1 1 (図 8 では「提供リソース情報」と表示されたボタン) がタップされると、リソース要件登録・表示選択画面 (図示せず) が表示される。供給者、又は、供給者及び需要者が新規に供給情報 1 1 1 a として用いられるリソース要件を登録したい場合には、このリソース要件登録・表示選択画面 (図示せず) で登録ボタン (図示せず) をタップし、表示部 2 2、又は、表示部 2 2 及び表示部 3 2 に登録画面 (図示せず) を表示させ、供給情報 1 1 1 a として用いられうる自らのリソース要件を、リソース要件情報 1 1 1 c (図 2 参照) としてマッチング支援装置 1 に登録する。

【0091】

一方、供給者、又は、供給者及び需要者がリソース要件登録・選択表示画面 (図示せず) で表示ボタン (図示せず) をタップすると、供給者端末 2 の表示部 2 2、又は、供給者端末 2 及び需要者端末 3 の表示部 2 2 及び表示部 3 2 には、図 9 に概念図を示すリソース要件一覧画面 4 2 が表示される。リソース要件一覧画面 4 2 には、それぞれの供給者、又は、それぞれの供給者及び需要者によって登録された、供給者、又は、供給者及び需要者が提示するそれぞれの供給リソース要件 (図 9 には「サプライ (リソース内容)」と表示) の名称である供給リソース要件タイトルが表示される。例えば図 9 においては、6 つの供給リソース要件タイトル 4 2 1, 4 2 2, … 4 2 6 が表示されている。

【0092】

一方、例えば、リソース要件登録・表示選択画面 (図示せず) において、需要者、又は、供給者及び需要者が新規に需要情報 1 1 2 a として用いられるリソース要件を登録したい場合には、このリソース要件登録・表示選択画面 (図示せず) で登録ボタン (図示せず) をタップし、表示部 3 2、又は、表示部 2 2 及び表示部 3 2 に登録画面 (図示せず) を表示させ、需要情報 1 1 2 a として用いられうる自らのリソース要件を、リソース要件情報 1 1 2 c (図 2 参照) としてマッチング支援装置 1 に登録する。

【0093】

そして、需要者、又は、供給者及び需要者がリソース要件登録・選択表示画面 (図示せず) で表示ボタン (図示せず) をタップすると、需要者端末 3 の表示部 3 2、又は、供給者端末 2 及び需要者端末 3 の表示部 2 2 及び表示部 3 2 には、図 9 に概念図を示すリソース要件一覧画面 4 2 が表示される。この場合、リソース要件一覧画面 4 2 には、それぞれの需要者、又は、それぞれの供給者及び需要者によって登録された、需要者、又は、供給者及び需要者が提示するそれぞれの需要リソース要件 (図 9 には「デマンド (需要内容)」と表示) の名称である需要リソース要件タイトルが表示される。例えば図 9 においては、2 つの需要リソース要件タイトル 4 2 7, 4 2 8 が表示されている。

【0094】

なお、図 9 においては、マッチング支援装置 1 に、一の供給者及び需要者の提示する、リソース要件情報 1 1 2 c として登録される需要リソース要件と、リソース要件情報 1 1 1 c として登録される供給リソース要件を双方共登録した結果として、一つのリソース要件一覧画面 4 2 に供給リソース要件タイトル 4 2 1, 4 2 2, … 4 2 6 と需要リソース要件タイトル 4 2 7, 4 2 8 とを併せて表示させた状態を示している。但し、端末の利用者が供給者であって、供給者端末 2 の表示部 2 2 に表示された登録画面 (図示せず) において、供給情報 1 1 1 a として用いられうるリソース要件情報 1 1 1 c のみを登録した場合には、図 9 に示す、一つのリソース要件一覧画面 4 2 に供給リソース要件タイトル 4 2 1, 4 2 2, … 4 2 6 のみが表示される。また、端末の利用者が需要者であって、需要者端末 3 の表示部 3 2 に表示された登録画面 (図示せず) において、需要情報 1 1 2 a として用いられるリソース要件情報 1 1 2 c のみを登録した場合には、図 9 に示す、一つのリソース要件一覧画面 4 2 に需要リソース要件タイトル 4 2 7, 4 2 8 のみが表示される。

【0095】

例えば、図 9 に示すリソース要件一覧画面 4 2 において一番下の供給リソース要件タイ

10

20

30

40

50

トル４２６がタップされると、供給者端末２の表示部２２には、図１０に概念図を示す供給リソース要件個別情報画面４３が表示される。供給リソース要件個別情報画面４３には、マッチングの供給情報１１１ａとして用いられうるリソース要件情報１１１ｃの詳細情報（図１０の場合は貸し会議室の詳細情報）であるリソース要件詳細情報４３１が表示される。リソース要件詳細情報４３１は、基本的に変更不要な情報である不変情報４３２と、日時の推移により変化する変動情報４３３とから成る。供給者がリソース要件詳細情報４３１の内容を修正したい場合には、供給リソース要件個別情報画面４３の修正ボタン４３４をタップして、表示部２２にリソース要件修正用画面（図示せず）を表示させて情報内容を修正する。

【００９６】

10

一方、リソース要件詳細情報４３１の内容で供給情報１１１ａとしてのマッチングを行いたい場合には、供給者は供給リソース要件個別情報画面４３の情報登録ボタン４３５（図１０では「サプライ」と表示されたボタン）をタップする。情報登録ボタン４３５がタップされると、リソース要件詳細情報４３１に表示された情報（即ち、リソース要件情報１１１ｃ）によって生成された供給情報１１１ａは、後述するステップＳ１やステップＳ２において、図１に示す、マッチング支援装置１に登録され、マッチングの対象として扱われる。

【００９７】

なお、図９に示すリソース要件一覧画面４２において需要リソース要件タイトル４２７、４２８がタップされた場合は、表示部２２に需要リソース要件個別情報画面（図示せず）が表示され、需要リソース要件個別情報画面（図示せず）には、マッチングの需要情報１１２ａとして用いられうるリソース要件情報１１２ｃの詳細情報であるリソース要件詳細情報が表示される。需要リソース要件個別情報画面（図示せず）の情報登録ボタン（図示せず）がタップされると、需要リソース要件個別情報画面（図示せず）に表示されたリソース要件詳細情報（即ちリソース要件情報１１２ｃ）によって生成された需要情報１１２ａは、後述するステップＳ１やステップＳ２において、マッチング支援装置１に登録され、マッチングの対象として扱われる。

20

【００９８】

[予備手順３．スケジュールへのスケジュール登録]

供給者は供給者端末２を用いて、需要者は需要者端末３を用いて、供給者及び需要者は供給者端末２及び需要者端末３を用いて、マッチング支援装置１に自己のスケジュールに関する情報を、スケジュール情報１１１ｂ、１１２ｂ（図２参照）として登録する。

30

【００９９】

例えば、供給者端末２及び／又は需要者端末３の表示部２２及び／又は表示部３２に図８に示すメニュー画面４１を表示させてスケジュールボタン４１２がタップされると、図１１に概念図を示す週単位スケジュール表示画面４４、又は図１２に概念図を示す日単位スケジュール表示画面４５が表示される。

【０１００】

図１１に示す週単位スケジュール表示画面４４には、需要者及び／又は供給者の週ごとのスケジュールが表示される。図１２に示す日単位スケジュール表示画面４５には、需要者及び／又は供給者の日ごとのスケジュールが表示される。更に、需要者端末３の表示部３２には、図２２に示す、月ごとのスケジュールが表示される月単位スケジュール表示画面５５を表示させることもできる。週単位スケジュール表示画面４４や日単位スケジュール表示画面４５には、図１１や図１２に示すように、表示部３２に表示される画面を月単位スケジュール表示画面５５と週単位スケジュール表示画面４４と日単位スケジュール表示画面４５とで順番に切り換えるための表示単位切り替えボタン４４１や、表示部３２に表示される月や週や日を前後に移動させるための第一移動ボタン４４２、４４２、第二移動ボタン４４３、４４３が表示される。なお図２２には図示しないが、月単位スケジュール表示画面５５にもこれらのボタン４４１、４４２、４４２、４４３、４４３が表示される。また、図示しないが、月単位スケジュール表示画面５５は、供給者端末２の表示部２

40

50

2 や、供給者端末 2 及び需要者端末 3 の表示部 2 2 及び表示部 3 2 にも表示させることができる。

【 0 1 0 1 】

図 1 1 に示す週単位スケジュール表示画面 4 4 や、図 1 2 に示す日単位スケジュール表示画面 4 5 には、新規スケジュール登録ボタン 4 4 4 (図 1 1 , 図 1 2 には「新規」と表示されたボタン) が表示されている。なお、図 2 2 に図示しないが、月単位スケジュール表示画面 5 5 にも同じ新規スケジュール登録ボタン 4 4 4 が表示される。供給者端末 2 及び / 又は需要者端末 3 において新規スケジュール登録ボタン 4 4 4 をタップすると、表示部 2 2 及び / 又は表示部 3 2 にはスケジュール登録画面 (図示せず) が表示される。供給者及び / 又は需要者がスケジュール登録画面 (図示せず) において新規のスケジュール (例えばスケジュールの内容や実行日時や実行場所等) を入力して登録ボタン (図示せず) をタップすると、入力された新規のスケジュールは、マッチング支援装置 1 のスケジュール管理部 1 5 に登録され、スケジュール情報 1 1 1 b 及び / 又はスケジュール情報 1 1 2 b として記録されると共に、供給者端末 2 及び / 又は需要者端末 3 において、図 2 2 に示す月単位スケジュール表示画面 5 5 や、図 1 1 に示す週単位スケジュール表示画面 4 4 や、図 1 2 に示す日単位スケジュール表示画面 4 5 に表示される。

10

【 0 1 0 2 】

供給者端末 2 及び / 又は需要者端末 3 の表示部 2 2 及び / 又は表示部 3 2 に表示されたスケジュール登録画面 (図示せず) には、登録する新規のスケジュールの内容をマッチングに基づいて決定する場合に任意の入力を行うマッチング希望入力欄 (図示せず) が、チェックボックス等の形式で表示される。供給者及び / 又は需要者は、マッチング希望入力欄 (図示せず) において、当該スケジュールの情報を需要情報 1 1 2 a、供給情報 1 1 1 a のいずれによりマッチングを行うのかを選択する。

20

【 0 1 0 3 】

マッチング希望入力欄 (図示せず) に任意の選択がされた状態で登録ボタン (図示せず) がタップされると、スケジュール登録画面 (図示せず) に入力された情報に対応するリソース要件情報 1 1 1 c 及び / 又はリソース要件情報 1 1 2 c (即ちスケジュール情報 1 1 1 b 及び / 又はスケジュール情報 1 1 2 b に対応するリソース要件情報 1 1 1 c 及び / 又はリソース要件情報 1 1 2 c) によって生成された供給情報 1 1 1 a 及び / 又は需要情報 1 1 2 a は、後述するステップ S 1 やステップ S 2 において、図 1 に示す、マッチング支援装置 1 に登録され、マッチングの対象として扱われる。

30

【 0 1 0 4 】

また、マッチング希望入力欄 (図示せず) にチェックされた状態でスケジュール情報 1 1 1 b 及び / 又はスケジュール情報 1 1 2 b (図 2 参照) が登録されると、そのスケジュール情報 1 1 1 b 及び / 又はスケジュール情報 1 1 2 b は、供給者端末 2 及び / 又は需要者端末 3 に表示された月単位スケジュール表示画面 5 5 (図 2 2 参照) や週単位スケジュール表示画面 4 4 (図 1 1 参照) や日単位スケジュール表示画面 4 5 (図 1 2 参照) において表示された情報に対応するリソース要件情報 1 1 1 c 及び / 又はリソース要件情報 1 1 2 c により、図 1 1 に示す、供給情報 1 1 1 a が生成されてマッチングが行われていることを示す供給情報マッチング係属表示 4 4 5 や、図 1 1 及び図 1 2 に示す、需要情報 1 1 2 a が生成されてマッチングが行われていることを示す需要情報マッチング係属表示 4 4 6 と共に表示される。

40

【 0 1 0 5 】

例えば、図 1 1 に概念図を示す、供給者端末 2 及び需要者端末 3 の表示部 2 2 及び表示部 3 2 に表示された週単位スケジュール表示画面 4 4 において、需要情報 1 1 2 a によるマッチングを行う任意のスケジュール 4 4 7 , 4 4 8 には、需要情報マッチング係属表示 4 4 6 が表示され、供給情報 1 1 1 a によるマッチングを行う任意のスケジュール 4 4 9 には、供給情報マッチング係属表示 4 4 5 が表示されている。また、図 1 2 に概念図を示す日単位スケジュール表示画面 4 5 には、需要者端末 3 の表示部 3 2 に表示された、需要情報 1 1 2 a によるマッチングを行う任意のスケジュール 4 4 7 , 4 4 8 が表示され、ス

50

ケジュール 4 4 7 , 4 4 8 と共に、需要情報マッチング係属表示 4 4 6 が表示されている。

【 0 1 0 6 】

供給情報マッチング係属表示 4 4 5 と需要情報マッチング係属表示 4 4 6 とは、視覚的に相違する態様で表示される。例えば、供給情報マッチング係属表示 4 4 5 は青色で表示され、需要情報マッチング係属表示 4 4 6 は赤色で表示される。

【 0 1 0 7 】

なお、図 1 1 において週単位スケジュール表示画面 4 4 は供給者端末 2 及び需要者端末 3 の表示部 2 2 及び表示部 3 2 に表示された状態を示し、図 1 2 において日単位スケジュール表示画面 4 5 は需要者端末 3 の表示部 3 2 に表示された状態を示しているが、月単位スケジュール表示画面 5 5、週単位スケジュール表示画面 4 4、日単位スケジュール表示画面 4 5 は、供給者端末 2 及び / 又は需要者端末 3 の表示部 2 2 及び / 又は表示部 3 2 に表示される。具体的には、月単位スケジュール表示画面 5 5、週単位スケジュール表示画面 4 4、日単位スケジュール表示画面 4 5 が供給者端末 2 の表示部 2 2 に表示される場合、供給情報 1 1 1 a としてマッチングの対象とされている任意のスケジュール（例えばスケジュール情報 1 1 1 b（図 2 参照）として登録されたスケジュール）と共に供給情報マッチング係属表示 4 4 5 が表示される。月単位スケジュール表示画面 5 5、週単位スケジュール表示画面 4 4、日単位スケジュール表示画面 4 5 が、需要者端末 3 の表示部 3 2 に表示される場合、需要情報 1 1 2 a としてマッチングの対象とされている任意のスケジュール（例えばスケジュール情報 1 1 2 b（図 2 参照）として登録されたスケジュール）と共に需要情報マッチング係属表示 4 4 6 が表示される（図 1 2 参照）。月単位スケジュール表示画面 5 5、週単位スケジュール表示画面 4 4、日単位スケジュール表示画面 4 5 が、供給者端末 2 及び需要者端末 3 の表示部 2 2 及び表示部 3 2 に表示される場合、供給情報 1 1 1 a によりマッチングが行われる任意のスケジュール（例えばスケジュール情報 1 1 1 b 及び / 又はスケジュール情報 1 1 2 b（図 2 参照）として登録されたスケジュール）と共に供給情報マッチング係属表示 4 4 5 が表示され、需要情報 1 1 2 a によりマッチングが行われる任意のスケジュールと共に需要情報マッチング係属表示 4 4 6 が表示される（図 1 1 参照）。

【 0 1 0 8 】

以上の予備手順の後に、図 4 に示すステップ S 1 ~ ステップ S 9 の処理が行われる。但し、[予備手順 1] 乃至 [予備手順 3] のうち少なくとも一の手順が、後述するステップ S 1 及び / 又はステップ S 2 において行われてもよい。

【 0 1 0 9 】

以下に示すステップ S 1 ~ ステップ S 9 に示す処理は、ステップ S 1 とステップ S 2 の処理内容の相違により、大きく分けて 2 つの動作手順が考えられる。それらを < 動作手順 1 > < 動作手順 2 > として以下に説明する。

【 0 1 1 0 】

< 動作手順 1 : 供給者端末 2 からの登録が先に行われる場合 >

これは、ステップ S 1 において、供給者端末 2 から供給情報 1 1 1 a が登録されて、ステップ S 2 において、需要者端末 3 から需要情報 1 1 2 a が登録されることでマッチングが開始される手順である。以下その動作手順について説明する。

【 0 1 1 1 】

[ステップ S 1 (矢印 A 1) . 情報の準備・蓄積]

たとえば、[予備手順 2] において供給リソース要件個別情報画面 4 3 の情報登録ボタン 4 3 5 がタップされた場合や、[予備手順 3] においてマッチング希望入力欄（図示せず）にチェックされた状態でスケジュール情報 1 1 1 b 及び / 又はスケジュール情報 1 1 2 b が登録された場合、リソース要件情報 1 1 1 c に基づいて供給情報 1 1 1 a が生成され、登録される。

【 0 1 1 2 】

この場合、例えば供給者端末 2 の表示部 2 2 には、図 1 3 に示す供給情報確認画面 4 6

10

20

30

40

50

が表示される。この供給情報確認画面46に表示された情報は、リソース要件情報111cとして登録された情報である。供給情報確認画面46には、希望条件表示欄461に供給者が[予備手順2]や[予備手順3]で供給情報111aとして登録された情報が表示される。例えば図13においては、希望条件表示欄461に、アルバイト先を要求する(つまり、労働力を供給する)ための情報である、労働希望日や労働希望時間、労働希望場所等の情報が表示されている。

【0113】

供給情報111aの種類によっては、図13の希望条件表示欄461に例示する情報の他に、供給者の氏名、イベントの種類や内容、イベントの詳細や日時、イベントの価格、当該情報をマッチングの対象とする「任意の期間」の日時情報である「情報期限」等の情報が表示される。この「情報期限」は、上述の「(期間3)マッチング期間」に対応し、具体的には、マッチング期間の開始日時や終了日時や期間等が表示される。また、「情報期限」の情報に加え、上述の「(期間1)供給要件期間」や「(期間2)情報受付期間」に対応する情報が表示されてもよい。

【0114】

例えば供給者が会議室のレンタル業者である場合、希望条件表示欄461には、業者名、「会議室のレンタル」というイベントの内容、会議室の数や大きさや「和室」「洋室」等の部屋タイプや貸出時間帯等に代表されるイベントの詳細や日時、部屋毎及び時間毎のレンタル料金等の価格情報、及び「情報期限」等の情報が表示される。

【0115】

また、例えば供給者がレストランやホテルの経営者や従業員であり、このレストランやホテルにて提供されるディナーセットのプランやディナーショー等を供給したい場合には、供給情報確認画面46には、業者名、「食事の予約」というイベントの内容、食事のメニューや会食日時や会食人数等に代表されるイベントの詳細や日時、メニュー毎の料金、等の情報が表示される。供給情報確認画面46に表示された内容を修正する場合、供給者は修正ボタン462をタップして修正画面(図示せず)を表示部32に表示させて情報を修正する。供給情報確認画面46に表示された内容でマッチングを行う場合、供給者が実行ボタン463(図14では、「再検索」と表示されたボタン)をタップすると、供給情報確認画面46に表示された情報がマッチング支援装置1の情報記録部11に記録され、蓄積される。

【0116】

このようにして、リソース要件情報111cの登録が完了し、登録されたリソース要件情報111cに基づいて生成され、登録された供給情報111aは、マッチングの対象とされうる(ステップS1の矢印A1)。

【0117】

[ステップS2(矢印A2)・リクエスト登録]

たとえば、[予備手順2]において需要リソース要件個別情報画面(図示せず)の情報登録ボタン(図示せず)がタップされた場合や、[予備手順3]においてマッチング希望入力欄(図示せず)にチェックされた状態で、スケジュール情報111b及び/又はスケジュール情報112bが登録された場合、需要情報112aが生成され、登録される。この需要情報112aは、登録されたリソース要件情報112cに基づいて生成されてもよい。

【0118】

この場合、例えば需要者端末3の表示部32には、図14に示す需要情報確認画面47が表示される。この需要情報確認画面47には、希望条件入力画面(図示せず)において入力された、日付、時間、情報種類、場所、最寄り駅、収容人数・・・等の希望条件が表示される、希望条件表示欄471が表示される。なお、表示される希望条件表示欄471には、希望条件入力画面(図示せず)において入力された、当該情報をマッチングの対象とする「任意の期間」の日時情報である情報期限472も表示されている。この「情報期限」は、上述の「(期間6)マッチング期間」に対応し、具体的には、マッチング期間の

開始日時や終了日時や期間等が表示される。また、「情報期限」の情報に加え、上述の「（期間４）需要要件期間」や「（期間５）情報受付期間」に対応する情報が表示されてもよい。需要者は、この希望条件表示欄４７１に希望条件を入力する。需要情報確認画面４７に表示された内容を修正する場合、需要者は修正ボタン４６２をタップして修正画面（図示せず）を表示部２２に表示させて情報を修正する。需要情報確認画面４７に表示された内容でマッチングを行う場合、需要者が実行ボタン４６３をタップすると、希望条件表示欄４７１に表示されたデータは、当該需要者からの需要情報１１２aとして、需要者端末３からマッチング支援装置１に送信され、情報記録部１１に記録される。

【０１１９】

このようにして、リクエスト登録が完了し、登録された情報は需要情報１１２aとしてマッチングの対象とされる（ステップＳ２の矢印Ａ２）。即ち、この実施の形態においては、マッチング支援装置１のマッチング部１２は、スケジュール管理部１５の要求に基づいてマッチングを行うことになる。

【０１２０】

〔ステップＳ３．即時マッチング〕

リクエスト登録が行われると、マッチング支援装置１のマッチング部１２は、即時マッチングを行う（ステップＳ３）。具体的には、トリガ部１３は、リクエスト登録をトリガにして、登録されて情報記録部１１に記録された供給情報１１１aの中から、マッチングに適合する供給情報１１１aを取得して、マッチング部１２に対し、リクエスト登録された需要情報１１２aとのマッチングをただちに行わせる。この場合、マッチング部１２は、例えば需要情報１１２aとそれぞれの供給情報１１１aとを、以下（マッチング例１）（マッチング例２）等に応示する形で供給情報１１１aと需要情報１１２aとのマッチングを行う。

【０１２１】

（マッチング例１）キーワードマッチング

供給情報１１１aと需要情報１１２aとに含まれる、日時や場所、カテゴリー等のキーワード同士を対比し、それらが一致するか否か、又は近似するか否かによってマッチングが成立するか否かを判定する。具体的には、例えば下記（条件例１）～（条件例４）に応示するような事項について対比を行って、需要の条件と供給の条件とが適合するかを判定することで行う。

（条件例１）供給情報１１１aの「カテゴリー」と需要情報１１２aの「カテゴリー」とが一致するか？

（条件例２）供給情報１１１aの「日付」や「時間帯」が、需要情報１１２aの「日付」や「時間帯」と同一又は内包しているか？

（条件例３）供給情報１１１aの「場所」や「最寄り駅」と需要情報１１２aの「場所」や「最寄り駅」が同一か？

（条件例４）供給情報１１１aの「収容人数」が需要情報１１２aの「収容人数」以上か？

（マッチング例２）グループマッチング

複数の供給者と複数の需要者とをグループ化又は階層化して任意の供給者グループや需要者グループを形成すると共に、これらのグループ総体としての供給情報１１１aや需要情報１１２aを形成する。そして、これらの供給情報１１１aと需要情報１１２aとを対比することでマッチングが成立するか否かを判定する。マッチングの具体的なやり方は、（マッチング例１）と同様に、上記（条件例１）～（条件例４）に記載した事項を対比して行う。

【０１２２】

〔マッチングにおける、マッチング支援システム１Aの具体的処理内容〕

以下、図５乃至図７A及び図７Bを参酌し、マッチングにおけるマッチング支援システム１Aの具体的処理内容を述べる。なお、これらの図において、フローチャートにおける最初の数字は、図４に応示タイムチャートのステップ番号に一致し、それぞれが関連する処

10

20

30

40

50

理であることを示す。例えば図 6 B に示すフローチャートの
“ S 3 - 1 ” “ S 3 - 2 ” に示す処理手順は、いずれも図 4 のタイムチャートの “ S 3 ”
に関連する処理であることを示している。

【 0 1 2 3 】

図 5 はマッチングの手順の主要部分を表したフローチャートである。同図においては、
< 場合 1 > として、ステップ S 1 において供給情報 1 1 1 a が先に登録された状態から、
ステップ S 2 における需要情報 1 1 2 a の登録をトリガにしてステップ S 3 のマッチング
が行われる処理手順（例えば< 動作手順 1 > のステップ S 1 , ステップ S 2 ）と、< 場合
2 > として、ステップ S 1 において需要情報 1 1 2 a が先に登録された状態から、ステッ
プ S 2 における供給情報 1 1 1 a の登録をトリガにしてステップ S 3 のマッチングが行わ
れる処理手順（例えば後述する< 動作手順 2 > のステップ S 1 , ステップ S 2 ）との双方
が記載されている。

10

【 0 1 2 4 】

なお図 5 においては、説明の便宜上、< 場合 1 > のみで行われる処理、及び、< 場合 1
> と< 場合 2 > とで共通して行われる処理については、ステップ番号を図 4 のタイムチャ
ートと同じ表記とし（例えば図 5 のフローチャートにおいて “ ステップ S 3 - 1 ” , “ ス
テップ S 3 - 2 ” と記載されたものは、図 3 のタイムチャートの “ ステップ S 3 ” に関連
する処理であることを示す。）、< 場合 2 > のみで行われる処理については、ステップ番
号を図 4 のタイムチャートのステップ番号に「 ' 」を付けた表記（例えば図 5 のフローチ
ャートにおいて “ ステップ S 3 ' - 1 ” , “ ステップ S 3 ' - 2 ” と記載されたものは、
図 4 のタイムチャートの “ ステップ S 3 ” に関連する処理であることを示す。）で示す。

20

【 0 1 2 5 】

まず< 場合 1 > について説明する。ステップ S 1 の後、需要者端末 3、又は、供給者端
末 2 及び需要者端末 3 から需要リクエスト登録があると（ステップ S 2 ）、図 1 のマッ
チング部 1 2 はトリガ元情報としての需要情報 1 1 2 a を取得し（ステップ S 3 - 1 ）、供
給情報 1 1 1 a を検索する（ステップ S 3 - 2 ）。図 1 のマッチング部 1 2 は、比較対象
である需要情報 1 1 2 a と供給情報 1 1 1 a 同士の合致度を判定し（ステップ S 3 - 3 ）、
信用度を判定し（ステップ S 3 - 4 ）、コストを判定する（ステップ S 3 - 5 ）。両者
が合致した場合は（ステップ S 3 - 6 の “ Y e s ” ）マッチング部 1 2 はマッチング結果
に基づいて結果処理を行い（後述、ステップ S 3 - 7 ）、両者が合致しない場合は（ステ
ップ S 3 - 6 の “ N o ” ）結果処理は行わない。

30

【 0 1 2 6 】

なお、図 5 に示す通り、後述するステップ S 5 , S 6 （登録情報の変更、及び継続マッ
チング）においても同様の処理が行われる。但しステップ S 5 , S 6 の場合、需要情報 1
1 2 a をトリガ元情報として供給情報 1 1 1 a の検索を行う（ステップ S 5 , S 6 - 1 ,
S 6 - 2 ）場合に加え、供給情報 1 1 1 a をトリガ元情報として需要情報 1 1 2 a の検索
を行う（ステップ S 5 ' , S 6 ' - 1 , S 6 ' - 2 ）場合もありうる。

【 0 1 2 7 】

次に< 場合 2 > について説明する。ステップ S 1 の後、供給者端末 2、又は、供給者端
末 2 及び需要者端末 3 から供給リクエスト登録があると（ステップ S 2 ' ）、図 1 のマッ
チング部 1 2 はトリガ元情報としての供給情報 1 1 1 a を取得し（ステップ S 3 ' - 1 ）、
需要情報 1 1 2 a を検索する（ステップ S 3 ' - 2 ）。以下の処理は< 場合 1 > と同じ
である（ステップ S 3 - 3 , S 3 - 4 , S 3 - 5 , S 3 - 6 , S 3 - 7 ）。

40

【 0 1 2 8 】

なお、図 5 に示す通り、後述するステップ S 5 , S 6 （登録情報の変更、及び継続マッ
チング）においても同様の処理が行われる。但しステップ S 5 , S 6 の場合、供給情報 1
1 1 a をトリガ元情報として需要情報 1 1 2 a の検索を行う（ステップ S 5 ' , S 6 ' -
1 , S 6 ' - 2 ）場合に加え、需要情報 1 1 2 a をトリガ元情報として供給情報 1 1 1 a
の検索を行う（ステップ S 5 , S 6 - 1 , S 6 - 2 ）場合もありうる。

【 0 1 2 9 】

50

図 6 A 及び図 6 B は、需要情報 1 1 2 a をトリガとして行われるマッチングにおけるデータの遷移を模式的に示す図である。同図のステップ番号の表示方法は、図 5 のフローチャートと同じである。需要者端末 3、又は、供給者端末 2 及び需要者端末 3 においてスケジュール情報 1 1 2 b のスケジュール登録が行われる（図 6 A の予備手順 3）。ステップ S 1（図 4 参照）の処理の後、需要者端末 3、又は、供給者端末 2 及び需要者端末 3 において、週単位スケジュール表示画面 4 4（図 1 1 参照）や日単位スケジュール表示画面 4 5（図 1 2 参照）等を経てスケジュール登録画面（図示せず）から需要リクエスト登録（図 6 A のステップ S 2）が行われた場合、図 6 A の（a）に示す任意のスケジュール情報 1 1 2 b と、図 6 A の（b）に示す、需要リクエスト登録によって生成された任意の需要情報 1 1 2 a とが紐付け（関連付け）される。同図においては、スケジュール情報 1 1 2 b に含まれる「新入社員歓迎会」1 1 2 b 1 と、（新入社員歓迎会の会場である）需要情報 1 1 2 a に含まれる「レストラン」1 1 2 a 1 及び「カラオケ（伴奏に合わせて客に歌を歌わせるサービスを提供する店舗のこと。）」1 1 2 a 2 とが紐付けられる。なお、図 6 A 及び図 6 B に示す通り、「レストラン」1 1 2 a 1 及び「カラオケ」1 1 2 a 2 は、時間情報 1 1 2 a 1 3 を有している。

10

【0 1 3 0】

この状態でマッチングが行われると（図 6 B のステップ S 3 - 1）、需要情報 1 1 2 a に含まれる「レストラン」1 1 2 a 1 と、この「レストラン」1 1 2 a 1 に日時や内容の条件が適合（マッチングの成立）する、図 6 B の（c）に示す、供給情報 1 1 1 a に含まれる「飲食店 B」1 1 1 a 1 とが紐付けられる。なお、図 6 A 及び図 6 B に示す通り、「飲食店 B」1 1 1 a 1 は、時間情報 1 1 1 a 1 3 を有する状態でマッチングが行われる。即ち、このマッチングにおいては「レストラン」1 1 2 a 1 の時間情報 1 1 2 a 1 3 と、「飲食店 B」1 1 1 a 1 の時間情報 1 1 1 a 1 3 とのマッチングも行われる。

20

【0 1 3 1】

そして、この「飲食店 B」1 1 1 a 1 と、図 6 B の（d）に示す、マッチング結果情報 1 1 1 a a とが紐付けられ、このマッチング結果情報 1 1 1 a a が供給者端末 2 及び / 又は需要者端末 3 に表示・通知される（図 6 B のステップ S 3 - 2）。

【0 1 3 2】

そして、マッチング結果情報 1 1 1 a a は、図 6 B の（e）に示す、スケジュール情報 1 1 1 b 2 に紐付けられる。以上により、需要者、又は、供給者及び需要者によって登録されたスケジュール情報 1 1 2 b の情報に基づいて需要情報 1 1 2 a が生成されて、供給情報 1 1 1 a とのマッチングが行われた結果が、供給者、又は、供給者及び需要者のスケジュール情報 1 1 1 b に反映される。

30

【0 1 3 3】

なお、同図に示す通り、ステップ S 5、S 6 においても同様の処理が行われる（図 6 A のステップ S 5、及び図 6 B のステップ S 6 - 1、S 6 - 2）。

【0 1 3 4】

図 7 A 及び図 7 B は、供給情報 1 1 1 a をトリガとして行われるマッチングにおけるデータの遷移を模式的に示す図である。同図のステップ番号の表示方法は、図 5 のフローチャートと同じである。

40

【0 1 3 5】

まず、供給者端末 2、又は、供給者端末 2 及び需要者端末 3 において、図 7 A の（f）に示す、リソース要件情報 1 1 1 c の登録が行われ（〔予備手順 2〕参照）、図 7 A の（g）に示す、スケジュール情報 1 1 1 b の登録が行われる（図 7 A の予備手順 3）。ステップ S 1（図 4 参照）の処理の後、週単位スケジュール表示画面 4 4（図 1 1 参照）や日単位スケジュール表示画面 4 5（図 1 2 参照）等を経てスケジュール登録画面（図示せず）から供給リクエスト登録（図 7 A のステップ S 2'）が行われた場合、任意のリソース要件情報 1 1 1 c と、任意のスケジュール情報 1 1 1 b とに基づいて、図 7 A の（h）に示す、供給情報 1 1 1 a が生成される。図 7 A においては、図 7 A の（f）に示す、リソース要件情報 1 1 1 c としての「飲食店 B」1 1 1 c 1 と、図 7 A の（g）に示す、スケ

50

ジュール情報 1 1 1 b の時間に関する情報である「1 2 / 5 / 2 , 1 8 : 0 0 ~ 2 4 : 0 0」1 1 1 b 0 とが取得されると共にこれらが紐付けられている。また、取得された情報に基づいて、図 7 A の (h) に示す、「1 2 / 5 / 2 , 1 8 : 0 0 ~ 2 4 : 0 0」1 1 1 b 0 を時間情報 1 1 1 a 1 3 として有する、供給リクエスト登録によって生成された供給情報 1 1 1 a としての「飲食店 B」1 1 1 a 1 が生成された場合を示している。この状態において、図 7 A の (g) に示す「1 2 / 5 / 2 , 1 8 : 0 0 ~ 2 4 : 0 0」1 1 1 b 0 と、図 7 A の (h) に示す「飲食店 B」1 1 1 a 1 とが紐付けられている。

【 0 1 3 6 】

そして、図 7 A の (h) に示す任意の供給情報 1 1 1 a が、図 7 B の (i) に示す任意の需要情報 1 1 2 a とマッチングされ (図 7 B のステップ S 3 ' - 1) て紐付けされる。同図においては、図 7 A の (h) に示す、供給情報 1 1 1 a に含まれる「飲食店 B」1 1 1 a 1 と、この「飲食店 B」1 1 1 a 1 に日時や内容の条件が適合 (マッチングの成立) する、図 7 B の (i) に示す需要情報 1 1 2 a に含まれる「レストラン」1 1 2 a 1 とが紐付けられている。そして、この「レストラン」1 1 2 a 1 と、図 7 B の (j) に示す、マッチング結果情報 1 1 2 a a とが紐付けられ、このマッチング結果情報 1 1 2 a a が供給者端末 2 及び / 又は需要者端末 3 に表示・通知される (ステップ S 3 ' - 2)。このマッチング結果情報 1 1 2 a a と、図 7 B の (k) に示す、スケジュール情報 1 1 2 b に含まれる「新入社員歓迎会」1 1 2 b 1 とが紐付けられる。これにより、供給者、又は、供給者及び需要者によって登録されたスケジュール情報 1 1 1 b の情報に基づいて供給情報 1 1 1 a が生成されて、需要情報 1 1 2 a とマッチングが行われた結果が、需要者、又は、供給者及び需要者のスケジュール情報 1 1 2 b に反映される。

【 0 1 3 7 】

なお、図 7 A 及び図 7 B に示す通り、ステップ S 5 ' , S 6 ' においても同様の処理が行われる (図 7 A のステップ S 5 '、及び図 7 B のステップ S 6 ' - 1 , S 6 ' - 2)。

【 0 1 3 8 】

なお、図 6 B 及び図 7 B において、マッチング結果情報 1 1 1 a a , 1 1 2 a a はそれぞれひとつのデータとして図示したが、マッチング結果情報 1 1 1 a a , 1 1 2 a a は、マッチングが成立するたびに生成されるため、複数生成されうる。また、図 6 B 及び図 7 B において、マッチング結果情報 1 1 1 a a , 1 1 2 a a は供給情報 1 1 1 a 側、及び需要情報 1 1 2 a 側のそれぞれに生成される状態を示したが、供給情報 1 1 1 a 側のみにマッチング結果情報 1 1 1 a a が生成される構成や、需要情報 1 1 2 a 側のみにマッチング結果情報 1 1 2 a a が生成される構成であってもよい。

【 0 1 3 9 】

上記の手順により、ステップ S 3 における、図 1 のマッチング部 1 2 のマッチングが成立すると、図 1 の結果送信部 1 4 はマッチングの結果 (即ち、マッチングが成立したか否か、及び、どの供給情報 1 1 1 a とマッチングが成立したのか、等の情報) を供給者端末 2 及び需要者端末 3 に送信する。図 1 5 は、供給者端末 2 及び需要者端末 3 に表示されるマッチング結果新着情報画面 4 8 の概念図である。同図に示すように、マッチング結果新着情報画面 4 8 には、需要者端末 3 や、供給者端末 2 及び需要者端末 3 からの一又は複数 (ここでは二つ) のリクエスト登録 (図 4 のステップ S 2) に基づいて行われたマッチングの結果、マッチングが成立したものが二つの需要者側マッチング結果リスト 4 8 1 , 4 8 2 として表示される。また、同図に示すマッチング結果新着情報画面 4 8 には、情報の準備・蓄積 (図 4 のステップ S 1) とリクエスト登録 (図 4 のステップ S 2) とにおける、供給者端末 2 や、供給者端末 2 及び需要者端末 3 からの一又は複数 (ここでは一つ) の供給リソース要件の登録に基づいて行われたマッチングの結果、日時や内容が適合 (マッチングの成立) したものが一つの供給者側マッチング結果リスト 4 8 3 として表示される。なお、図 4 のステップ S 5、ステップ S 6 の処理が行われた場合も結果送信部 1 4 は上記と同様の処理を行い、図 1 5 に示す通り、マッチング結果新着情報画面 4 8 には需要者側マッチング結果リスト 4 8 1 , 4 8 2 に需要者側画面遷移ボタン 4 8 4 , 4 8 5 が、供給者側マッチング結果リスト 4 8 3 に供給者側画面遷移ボタン 4 8 6 が、それぞれ表示さ

れる。

【0140】

なお、図15においては、マッチング結果新着情報画面48は、供給者端末2及び需要者端末3の表示部22及び表示部32に表示されているが、マッチング結果新着情報画面48は、供給者端末2の表示部22、又は、需要者端末3の表示部32にも表示される。具体的には、例えば供給者端末2の表示部22に表示される場合、マッチング結果新着情報画面48には、図15に示す、供給者側マッチング結果リスト483及び供給者側画面遷移ボタン486のみが表示される。また例えば、需要者端末3の表示部32に表示される場合、マッチング結果新着情報画面48には、図15に示す、需要者側マッチング結果リスト481、482及び需要者側画面遷移ボタン484、485のみが表示される。また、上記の説明は、ステップS3の処理によりマッチングが行われた結果、供給者端末2及び/又は需要者端末3の表示部22及び/又は表示部32にマッチング結果新着情報画面48が表示された状態を示したが、後述するステップS5及びステップS6の処理によりマッチングが行われた場合も、供給者端末2及び/又は需要者端末3の表示部22及び/又は表示部32には、マッチング結果新着情報画面48が表示される。

10

【0141】

例えば、図15に示す、供給者端末2及び需要者端末3の表示部22及び表示部32にマッチング結果新着情報画面48が表示された状態において需要者側画面遷移ボタン484がタップされると、供給者端末2及び需要者端末3は、ステップS3の以降の手順において需要者端末3として機能することとなり(但し、需要者端末3としてのみ機能する端末に表示されたマッチング結果新着情報画面48において、供給者側画面遷移ボタン486がタップされた場合は、需要者端末3は、ステップS3(図4参照)の以降の手順において継続して需要者端末3として機能し)、図17の概念図に示す通り、需要者端末3の表示部32にはイベント単位スケジュール表示画面50が表示される。このイベント単位スケジュール表示画面50には、マッチング結果新着情報画面48(図15参照)と同様のマッチング結果リスト501が表示される。なお、同図のイベント単位スケジュール表示画面50には、当該会議の開催時間帯や参加者名や開催場所等がスケジュール表示部502に表示された状態が示されている。なお、図17に示す「鈴木」「安部」「園田」「山下」はいずれも個人の姓を示す。

20

【0142】

イベント単位スケジュール表示画面50において、画面遷移ボタン503がタップされると、図19に概念図を示すイベント単位マッチング結果一覧画面52が表示される。イベント単位マッチング結果一覧画面52は、イベント単位スケジュール表示画面50(図17参照)と異なり、マッチング結果リスト521のみが表示されている。図19のイベント単位マッチング結果一覧画面52において、マッチング結果リスト521の個々の表示はタップボタンとなっている。例えば図19におけるマッチング結果リスト521の一番上の表示522がタップされると、図21に概念図を示す、マッチング結果個別情報画面54が表示される。このマッチング結果個別情報画面54には、図19のイベント単位マッチング結果一覧画面52においてタップされた、マッチング結果リスト521の一番上の表示522の詳細情報541が表示される。需要者端末3を使用する需要者は、図19や図21の情報を見て、候補である好みのイベント(つまり会議室の選択等)を選択できる。

30

40

【0143】

一方、例えば、図15に示すマッチング結果新着情報画面48において、供給者端末2及び需要者端末3の供給者側画面遷移ボタン486がタップされると、供給者端末2及び需要者端末3は、ステップS3の以降の手順において供給者端末2として機能することとなり(但し、供給者端末2としてのみ機能する端末に表示されたマッチング結果新着情報画面48において、供給者側画面遷移ボタン486がタップされた場合は、供給者端末2は、ステップS3の以降の手順において継続して供給者端末2として機能し)、供給者端末2の表示部22には、図16に示すイベント単位スケジュール表示画面49が表示され

50

て、スケジュール表示部 4 9 1、画面遷移ボタン 4 9 2、マッチング結果リスト 4 9 3 が表示される。なお、図 1 6 に示す「鈴木」は個人の姓であり、「鈴木太郎」は個人の姓名である。画面遷移ボタン 4 9 2 がタップされると、図 1 8 に示すイベント単位マッチング結果一覧画面 5 1 が表示され、マッチング結果リスト 5 1 1 のみが表示される。例えば図 1 8 におけるマッチング結果リスト 5 1 1 の一番上の表示 5 1 2 がタップされると、図 2 0 に示すマッチング結果個別情報画面 5 3 が表示され、詳細情報 5 3 1 が表示される。供給者は図 1 8 や図 2 0 の情報を見て、候補である好みのイベントを選択できる。

【 0 1 4 4 】

なお、ステップ S 3 においてマッチングを行った結果、需要情報 1 1 2 a に適合する供給情報 1 1 1 a がなかった場合には、当該需要情報 1 1 2 a は情報記録部 1 1 に記録される。記録される期間は、需要情報 1 1 2 a の場合は、需要情報確認画面 4 7 の情報期限 4 7 2 (図 1 4 参照) に表示された日時まで、又は、取引が成立(後述)するまでである。ただし、上述の「(期間 4) 需要要件期間」や「(期間 5) 情報受付期間」に対応する期間が設定されている場合には、これらの期間が終了するまでという条件であってもよい。一方、供給情報 1 1 1 a の場合は、取引が成立(後述)するまでであるが、[ステップ S 1] において情報期限を設定された場合は、情報期限が終了するまでという条件であってもよいし、上述の「(期間 1) 供給要件期間」や「(期間 2) 情報受付期間」に対応する期間が設定されている場合には、これらの期間が終了するまでという条件であってもよい。

【 0 1 4 5 】

結果送信部 1 4 は、即時マッチングの結果を、マッチングの成立、不成立の如何を問わず、供給者端末 2 及び需要者端末 3 に送信する(ステップ S 3)。これにより、供給者及び需要者は、マッチングの結果を迅速に確認し、マッチングの結果に基づく取引手順(例えば、マッチングが成立した場合に取引を成立させるための手順や、マッチングが不成立だった場合に需要情報 1 1 2 a や供給情報 1 1 1 a の内容を修正する手順など)を行うことができる。なお、結果送信部 1 4 は、即時マッチングの結果を、供給者端末 2 及び需要者端末 3 のうち何れか一方のみに送信し、処理の簡便化を図ることもできる。

【 0 1 4 6 】

[ステップ S 4 . 集計情報の利用]

需要者端末 3 からのリクエスト登録(ステップ S 2)により即時マッチング(ステップ S 3)が行われた後、マッチング部 1 2 は、マッチングの結果による集計情報の作成を行う。この集計情報は、サービスや商品の種類毎の情報(例えば、レンタル会議室の予約を行うために過去一定期間内にマッチングが行われた需要情報 1 1 2 a や供給情報 1 1 1 a) の集計情報(例えば、レンタル会議室の予約に関する需要情報 1 1 2 a や供給情報 1 1 1 a について、それらを送信した需要者や供給者の年齢、性別、住所、需要情報 1 1 2 a や供給情報 1 1 1 a の希望価格帯や希望時間帯等のデータを過去一定期間収集した結果得られた集計情報)としてまとめられる。マッチング部 1 2 は、この集計情報を、供給情報 1 1 1 a や需要情報 1 1 2 a や管理情報 1 1 3 として適宜記録する。結果送信部 1 4 は、この集計情報を、「ニーズ集計情報」として供給者端末 2 に送信し、また、「リコメンド集計情報」として需要者端末 3 に送信する(ステップ S 4)。これにより、供給者は、自分がマッチングを行わせる情報についての市場のニーズを把握し、よりマッチングが成立し易い供給情報 1 1 1 a を検討して以後のマッチングに用いることができる。また、需要者は、自分が提供を受けたいサービスの内容や価格帯等を把握することができる。なお、結果送信部 1 4 は、この集計結果に基づいて、「ニーズ集計情報」を供給者端末 2 のみに送信してもよいし、「リコメンド集計情報」を需要者端末 3 のみに送信してもよい。

【 0 1 4 7 】

[ステップ S 5 . 登録情報の変更]

ステップ S 1 ~ S 4 の手順終了後、マッチング支援装置 1 に対し、供給者端末 2 及び/又は需要者端末 3 から、供給情報 1 1 1 a 及び/又は需要情報 1 1 2 a の追加・更新・削除が行われた場合を考える(ステップ S 5)。これは、ステップ S 3 におけるマッチングの

結果が成立、未成立の如何に関わらず、取引が未成立（後述）の需要情報 1 1 2 a や供給情報 1 1 1 a が情報記録部 1 1 に記録されている場合に起こりうる。具体的には、例えば取引が未成立（後述）の供給情報 1 1 1 a や需要情報 1 1 2 a が情報記録部 1 1 に存在し、それらに対し、任意の供給者端末 2 及び / 又は需要者端末 3 の表示部 2 2 及び / 又は表示部 3 2 に表示されたスケジュール登録画面（図示せず）から、マッチングを希望する、新たな供給リソース要件の登録による新たな供給情報 1 1 1 a の登録があった場合や、新たな需要リソース要件の登録による新たな需要情報 1 1 2 a の登録があった場合がこれに相当する。また例えば、既に登録された供給情報 1 1 1 a や需要情報 1 1 2 a に対し、それらを登録した供給者や需要者が、供給者端末 2 及び / 又は需要者端末 3 の表示部 2 2 及び / 又は表示部 3 2 に表示されたスケジュール登録画面（図示せず）から、自らが登録した供給情報 1 1 1 a や需要情報 1 1 2 a を更新したり削除をした場合がこれに相当する。

10

【 0 1 4 8 】

〔ステップ S 6 . 継続マッチング〕

ステップ S 5 において登録情報の変更が行われると、トリガ部 1 3 は、登録情報の変更、即ち、供給者端末 2 又は需要者端末 3 から行われた供給情報 1 1 1 a 又は需要情報 1 1 2 a の追加・更新・削除をトリガとして、トリガ情報 1 1 3 a を用いて、マッチング部 1 2 に対し、供給情報 1 1 1 a と需要情報 1 1 2 a のマッチングを行わせる（ステップ S 6）。具体的には、供給者端末 2 からの供給情報 1 1 1 a の追加・更新、又は需要者端末 3 からの需要情報 1 1 2 a の追加・更新があった場合には、マッチング部 1 2 は、追加・更新された供給情報 1 1 1 a 又は需要情報 1 1 2 a と、情報記録部 1 1 に記録された、マッチングが未成立の需要情報 1 1 2 a や供給情報 1 1 1 a とのマッチングを行う。一方、供給者端末 2 からの供給情報 1 1 1 a の削除、又は、需要者端末 3 からの需要情報 1 1 2 a の削除があった場合には、マッチング部 1 2 は、削除された供給情報 1 1 1 a 又は需要情報 1 1 2 a との間でマッチングが成立していた需要情報 1 1 2 a 又は供給情報 1 1 1 a と、情報記録部 1 1 に記録された、マッチングが未成立の需要情報 1 1 2 a や供給情報 1 1 1 a との再度のマッチングを行う。

20

【 0 1 4 9 】

結果送信部 1 4 は、マッチングの結果を供給者端末 2 及び / 又は需要者端末 3 に送信する（ステップ S 6）。基本的には、需要者端末 3 からの需要情報 1 1 2 a の追加・更新、又は供給者端末 2 からの供給情報 1 1 1 a の追加・更新が行われたことをトリガに新たにマッチングが行われた場合、マッチング結果を、マッチングの対象となった供給情報 1 1 1 a 及び需要情報 1 1 2 a の登録、及び追加・更新を行った供給者端末 2 及び需要者端末 3 にそれぞれ送信する。一方、需要者端末 3 からの需要情報 1 1 2 a の削除、又は供給者端末 2 からの供給情報 1 1 1 a の削除が行われたことをトリガに新たにマッチングが行われた場合、マッチング結果を、マッチングの対象となった供給情報 1 1 1 a 及び需要情報 1 1 2 a の登録を行った供給者端末 2 及び需要者端末 3 にそれぞれ送信する。ただし、マッチング結果を、供給情報 1 1 1 a や需要情報 1 1 2 a の追加・更新を行った供給者端末 2 のみ又は需要者端末 3 のみに行う構成としてもよいし、供給情報 1 1 1 a や需要情報 1 1 2 a の追加・更新の結果マッチングの対象となった供給情報 1 1 1 a 又は需要情報 1 1 2 a を、登録した供給者端末 2 又は需要者端末 3 のみに行う構成にしてもよいし、常に供給者端末 2 のみに行う構成にしてもよいし、常に需要者端末 3 のみに行う構成にしてもよい。

30

40

【 0 1 5 0 】

このようにすることで、マッチング支援システム 1 A で、現実の対人間交渉と同様の態様でマッチングを行うことができる。特に、マッチングの結果を常にマッチングの当事者が使用する供給者端末 2 及び需要者端末 3 の双方に送信することで、その供給者や需要者がマッチング支援システム 1 A 上で交渉を行いつつ、マッチングが成立し易いように交渉や条件修正を行うことが期待できる。

【 0 1 5 1 】

更に、マッチング支援システム 1 A は、交渉の結果をマッチング当事者以外が使用する

50

供給者端末 2 及び / 又は需要者端末 3 に送信する構成であってもよい。このようにすることで、当事者以外の供給者や需要者を新たにマッチングに参加させ、当事者を増やすことで取引等をより円滑かつ効率的に行うことを可能にし、よりよいマッチング結果が導き出されることが期待できる。

【 0 1 5 2 】

[ステップ S 7 . 繰返し]

情報記録部 1 1、マッチング部 1 2、トリガ部 1 3、結果送信部 1 4 は、ステップ S 2 で入力された需要情報 1 1 2 a の情報期限 4 7 2 (図 1 4 参照) の間、ステップ S 4 ~ ステップ S 6 の手順を繰り返す (ステップ S 7) 。

【 0 1 5 3 】

即ち、マッチング部 1 2 は、ステップ S 6 におけるマッチングが行われた結果に基づいて集計情報の作成を行って「ニーズ集計情報」の供給者端末 2 への送信、及び / 又は「リコメンド集計情報」の需要者端末 3 への送信を行う (ステップ S 4) 。

【 0 1 5 4 】

情報記録部 1 1 が、供給情報 1 1 1 a の情報期限や需要情報 1 1 2 a の情報期限 4 7 2 (図 1 4 参照) の間、需要者端末 3 による需要情報 1 1 2 a の追加・更新・削除、又は供給者端末 2 による供給情報 1 1 1 a の追加・更新・削除が行われると (ステップ S 5)、トリガ部 1 3 は、この需要情報 1 1 2 a 又は供給情報 1 1 1 a の追加・更新・削除をトリガに、トリガ情報 1 1 3 a を用いて、マッチング部 1 2 にマッチングを行わせ、マッチング結果を供給者端末 2 及び / 又は需要者端末 3 に送信する (ステップ S 6) 。

【 0 1 5 5 】

具体的には、例えば、供給者端末 2 から既に任意の価格で提示されたサービスや商品の供給情報 1 1 1 a について、より低価格で新たに提示された情報や、需要者端末 3 から既に任意の希望価格帯で提示されたサービスや商品の需要情報 1 1 2 a について、より高額の価格帯も含む新たな希望価格帯で新たに提示された情報、等を受信する度に、この受信をトリガに、マッチング部 1 2 に対し、マッチングを行わせる (ステップ S 5、ステップ S 6)。但し、供給情報確認画面 4 6 (図 1 3) や需要情報確認画面 4 7 (図 1 4) において供給者や需要者によって実行ボタン 4 6 3 がタップされることで供給情報 1 1 1 a や需要情報 1 1 2 a の追加や修正が行われた場合には、マッチング部 1 2 は、ステップ S 3 と同様の即時マッチングを行う。

【 0 1 5 6 】

ステップ S 5、ステップ S 6 の過程において、供給者及び需要者は、供給者端末 2 及び / 又は需要者端末 3 にマッチング結果個別情報画面 5 3、5 4 (図 2 0、図 2 1 参照) 等を表示させた状態で、現実の対人間交渉を擬似的に実現できる。例えば、供給者端末 2 及び / 又は需要者端末 3 にマッチング結果個別情報画面 5 3、5 4 (図 2 0、図 2 1 参照) 等を表示させて、修正ボタン 5 3 2 (図 2 0 では「サプライ」、図 2 1 では「デマンド」と表示されたボタン) をタップすることで表示部 2 2 及び / 又は表示部 3 2 に修正画面 (図示せず) を表示させ、自らが提供する供給情報 1 1 1 a や需要情報 1 1 2 a の内容を修正することができる。また、コメントボタン 5 3 3 をタップすることで表示部 2 2 及び / 又は表示部 3 2 にメッセージ送受信画面 (図示せず) を表示させて、任意の供給者端末 2 及び / 又は需要者端末 3 に対するメッセージ送信を行わせることができる。

【 0 1 5 7 】

更に、図 2 0 に示すように、供給者端末 2 のマッチング結果個別情報画面 5 3 には、プッシュボタン 5 3 4 が設けられている。供給者は、このプッシュボタン 5 3 4 をタップすることで、マッチング結果個別情報画面 5 3 に表示された任意の需要情報 1 1 2 a に対して、マッチングの意思を強く有することを告知するための信号を送信することができる。プッシュボタン 5 3 4 によるプッシュが行われた場合、図 2 1 に示すように、需要者端末 3 のマッチング結果個別情報画面 5 4 にはプッシュ受領表示 5 4 2 が表示される。

【 0 1 5 8 】

プッシュボタン 5 3 4 による送信が利用されるケースは、例えば、需要情報 1 1 2 a が

10

20

30

40

50

「アルバイト募集」の求人情報であり、供給者端末2を用いる供給者が求職者である場合が考えられる。即ちこの場合、供給者は、特に働きたい求人情報を発見したら、その求人情報に対して「雇用を特に希望する」旨の意思表示としてプッシュボタン534をタップする。これにより、供給者は任意の需要情報112aとのマッチングに対する強い意思表示を簡易に行え、需要者は、供給者ごとの取引成立への意思の度合いを簡易に知ることができる。

【0159】

結果送信部14は、マッチング部12がマッチングを行う度に、マッチングの結果を、マッチングの成立、不成立の如何を問わず、供給者端末2及び/又は需要者端末3に送信する(ステップS6)。更に、結果送信部14は、マッチング部12がマッチングを行う度に、ステップS4と同様の情報を供給者端末2及び/又は需要者端末3に送信する。マッチングの結果が供給者端末2及び/又は需要者端末3に送信されることにより、供給者や需要者に対し、自らが提示する供給情報111aや需要情報112aを、マッチングが成立し易い形に修正した更新情報として再度送信する機会を与えることができる。そのため、マッチングを行う需要者や供給者に対し、擬似的な取引交渉の機会を提供し、この擬似的な取引交渉の結果としてマッチングを成立させやすくすることができる。

【0160】

また、結果送信部14は、ステップS4～ステップS6を繰り返すことで得たマッチングの結果を、マッチングの対象である供給情報111aや需要情報112aを送信した供給者端末2及び/又は需要者端末3以外の、任意の条件を満たす供給者端末2及び/又は需要者端末3に送信することもできる。例えば、マッチングの対象である供給情報111aが貸し会議室の提供に関するものである場合、結果送信部14は、このマッチングの結果に関する情報(マッチングを行った需要情報112aに係る需要者の希望条件である希望日時、部屋の希望収容人数、希望する会議室所在地、希望価格等の情報や、マッチングを行った供給情報111aに係る供給者の提供する会議室の収容人数、所在地、レンタル料等の情報)を、近隣地域の同業のレンタル会議室の業者の供給者端末2に送信することができる。また、マッチングの対象である需要情報112aが特定の商品の購入希望に関するものである場合、結果送信部14は、マッチングを行った供給情報111aを、同じ商品の購入を希望する需要者の需要者端末3に送信することができる。これにより、供給者同士、又は同じサービスや商品の提供を希望する需要者同士で供給や需要の競争を起こさせて、取引の活性化を図りつつ、好条件のマッチング結果を得ることが容易になる。

【0161】

なお、もし、供給情報111aの情報期限や需要情報112aの情報期限472(図14参照)の期間中のステップS5、ステップS6の手順において需要情報112aと供給情報111aとのマッチングが成立した場合(後述するステップS8の処理が行われた場合を除いては)、マッチング部12は、成立したマッチング情報を情報記録部11に記録して、成立したマッチング情報を保持する。この、「マッチング情報を保持」した状態においては、マッチングは成立しているが、需要者及び/又は供給者が、マッチングの結果に基づいて取引を成立させた状態ではない。即ち、「マッチング情報を保持」した状態において、マッチング部12は、マッチングが成立した結果の供給情報111a及び/又は需要情報112aを、需要者及び/又は供給者が最終的に取引を成立させる候補として一時的に保持された状態として扱う。

【0162】

このようにして、マッチング部12は、成立したマッチング情報に係る需要情報112a及び供給情報111aのうち少なくとも何れか一方についてマッチングを継続して行う。即ち、マッチング部12は、供給情報111aの情報期限や需要情報112aの情報期限472(図14参照)の間、又は需要者や供給者の処理によって取引が成立するまでの間、マッチングが成立した需要情報112a又は供給情報111aについて、その需要情報112a又は供給情報111aや、他の供給情報111aや需要情報112aに対する追加・更新が行われたり(ステップS5)、他の供給情報111aや需要情報112aの

削除が行われたり（ステップS5）するたびに、供給情報111a又は需要情報112aの追加・更新・削除をトリガに、供給情報111a又は需要情報112aとのマッチングを継続して行う（ステップS6）ことを繰り返す（ステップS7）。そして、結果送信部14は、マッチング部12によるマッチングが行われるたびに、マッチングの結果を供給者端末2及び/又は需要者端末3に送信する（ステップS6）ことを繰り返す（ステップS7）。また、マッチング部12がマッチングを行うたびに、マッチング部12が集計情報をまとめ、結果送信部14が、供給者端末2に対する「ニーズ集計情報」の送信、及び/又は需要者端末3に対する「リコメンド集計情報」の送信を行う（ステップS4）ことを繰り返す（ステップS7）。なお、この際、マッチング部12は、既にマッチングが成立し、マッチング情報が保持された状態になっている供給情報111aは、情報期限472（図14参照）の間、他の需要情報112aとの間で新たなマッチングを行わせないようにしてもよい。

10

【0163】

このように、マッチングが成立したマッチング情報に係る供給情報111aや需要情報112aを供給情報111aの情報期限や需要情報112aの情報期限472（図14参照）の間一時的に保持しておき、その供給情報111aや需要情報112aに基づいて更なるマッチングを行わせることで、需要者及び/又は供給者は、後述するように、供給情報111aの情報期限や需要情報112aの情報期限472（図14参照）の期間中、及び/又は供給情報111aの情報期限や需要情報112aの情報期限472（図14参照）が終了した後において、保持された供給情報111aや需要情報112aの中から、自らの好みに適合した最良のものを選択できる。これにより、需要者又は供給者に対し、マッチングの条件に適合したサービスや商品等の中から最良のものを選択し、よりよい取引を行う機会を提供することができる。

20

【0164】

ステップS4～ステップS6の処理は、供給者端末2及び/又は需要者端末3から送信された供給情報111aや需要情報112aに基づくマッチングを終了させる旨の命令をマッチング部12が受信した場合、又は、供給情報111aの情報期限及び/又は需要情報112aの情報期限472（図14参照）の期間が終了した場合、又は、取引が成立した場合、の何れか一つの場合となるまで繰り返される（ステップS7）。

【0165】

〔ステップS8．マッチングの完了〕

ステップS3～S7の処理によってマッチングが成立したのち、供給情報111aの情報期限や需要情報112aの情報期限472（図14参照）の期間中又は期間が終了した後に取引が成立した場合を考える。

30

【0166】

ここで、「取引の成立」「取引が成立」「取引が成立したこと」とは、以下（成立条件1）（成立条件2）の何れかを満たすことをいう。

（成立条件1）需要者が、マッチングが成立した供給情報111aの中から、自らのニーズに最も適合したものを選択することで取引申込の意思を示し、この取引申込の意思が示された時点と同時、又は、この取引申込の意思が示された時点よりも後に、この供給情報111aを登録した供給者から、需要者に対する取引申込の意思又は申込受諾の意思が示されること。

40

（成立条件2）供給者が、マッチングが成立した需要情報112aの中から、自らのニーズに最も適合したものを選択することで取引申込の意思を示し、この取引申込の意思が示された時点と同時、又は、この取引申込の意思が示された時点よりも後に、この需要情報112aを登録した需要者から、供給者に対する取引申込の意思又は申込受諾の意思が示されること。

【0167】

具体的には、例えば、マッチングの結果、供給者側、需要者側の双方にそれぞれ複数の（自らが登録した供給情報111aや需要情報112aとのマッチングが成立した）需要

50

情報 1 1 2 a や供給情報 1 1 1 a が提示されているときに、下記（パターン 1）（パターン 2）に適合する場合がこれに相当する。

（パターン 1）供給者及び需要者のうち何れか一方側が他方側に対して取引申込の意思を示し、取引申込を受けた他方側が、これを受ける形で（即ち、一方側から取引申込の意思が示されたことを認識して）一方側に対する申込受諾の意思が示されることで供給者と需要者とが取引に合意する場合。これは、上記（成立条件 1）や（成立条件 2）における、「この取引申込の意思が示された時点よりも後に・・・申込受諾の意思が示されること。」に相当する。

（パターン 2）供給者及び需要者の双方から同時期（即ち、予め設定された任意の時間帯内）に取引申込の意思を示し、取引申込の意思を示された相手側からの申込受諾の意思の確認を得ることなく、供給者と需要者とが取引に合意する場合。これは、上記（成立条件 1）や（成立条件 2）における、「この取引申込の意思が示された時点と同時・・・に、・・・取引申込の意思・・・が示されること。」に相当する。

【 0 1 6 8 】

一方、上記（成立条件 1）（成立条件 2）に該当しない場合は「取引の未成立」や「取引が未成立」として扱う。

この、需要者や供給者の取引申込の意思や申込受諾の意思は、需要者端末 3 に表示された取引申込ボタン 5 4 3 や供給者端末 2 に表示された取引申込ボタン（図示せず）のタップ等、需要者端末 3 や供給者端末 2 に表示された各種ボタンのタップによって示される。但し、それ以外の方法、例えば電話やメール等による連絡や、供給者と需要者との面前での連絡等によって示されてもよい。

【 0 1 6 9 】

「取引の成立」「取引が成立」「取引が成立したこと」を具体的に説明する。例えば、マッチングが成立すると、図 2 0 に示す、供給者端末 2 のマッチング結果個別情報画面 5 3、及び、図 2 1 に示す、需要者端末 3 のマッチング結果個別情報画面 5 4 には、マッチングが成立した供給情報 1 1 1 a と需要情報 1 1 2 a との組み合わせが表示される。この状態で、以下＜場合 1＞～＜場合 4＞に示すように、供給者と需要者から取引申込の意思表示や申込受諾の意思表示が行われた場合、取引が成立する。

＜場合 1＞需要者端末 3 を使用する需要者が取引申込ボタン 5 4 3 をタップすることで任意の供給情報 1 1 1 a に対する取引申込の意思が示され、この取引申込の意思が示されると同時、又はこの取引申込の意思が示された時点よりも後に、取引申込ボタン（図示せず）のタップの有無と無関係に、マッチング部 1 2 の処理によって自動的に供給者の申込受諾の意思が示された場合。

＜場合 2＞需要者端末 3 を使用する需要者が取引申込ボタン 5 4 3 をタップすることで任意の供給情報 1 1 1 a に対する取引申込の意思が示され、この取引申込の意思が示されると同時、又はこの取引申込の意思が示された時点よりも後に、この供給情報 1 1 1 a を登録した供給者が、供給者端末 2 に表示された取引申込ボタン（図示せず）をタップすること等により、供給者の取引申込の意思又は申込受諾の意思が示された場合。

＜場合 3＞供給者端末 2 を使用する供給者が取引申込ボタン（図示せず）をタップすることで任意の需要情報 1 1 2 a に対する取引申込の意思が示され、この取引申込の意思が示されると同時、又はこの取引申込の意思が示された時点よりも後に、取引申込ボタン 5 4 3 のタップの有無と無関係に、マッチング部 1 2 の処理によって自動的に需要者の申込受諾の意思が示された場合。

＜場合 4＞供給者端末 2 を使用する供給者が取引申込ボタン（図示せず）をタップすることで任意の需要情報 1 1 2 a に対する取引申込の意思が示され、この取引申込の意思が示されると同時、又はこの取引申込の意思が示された時点よりも後に、この需要情報 1 1 2 a を登録した需要者が、需要者端末 3 に表示された取引申込ボタン 5 4 3 をタップすること等により、需要者の取引申込の意思又は申込受諾の意思が示された場合。

【 0 1 7 0 】

なお、上記＜場合 1＞＜場合 3＞における「自動的に・・・取引申込の意思が示され」

10

20

30

40

50

ることとは、供給情報 1 1 1 a や需要情報 1 1 2 a に対して取引申込の意思を示す情報をマッチング部 1 2 が取得したときに、任意の条件において（例えば、それぞれの供給情報 1 1 1 a や需要情報 1 1 2 a についてマッチング部 1 2 が取得した取引申込の意思の数、予め設定された任意の数に至るまで）、マッチング部 1 2 が、その供給情報 1 1 1 a を登録した供給者の申込受諾の意思を示す情報や、その需要情報 1 1 2 a を登録した需要者の申込受諾の意思を示す情報を自動的に返す設定をいう（以下、本明細書において同じ）。この実施の形態のマッチング支援装置 1 においては、供給者や需要者が、供給者端末 2 や需要者端末 3 を用いてこのような設定を選択可能に構成することができる。

【0171】

上記＜場合 1＞＜場合 2＞をより詳細に説明する。需要者が、需要者端末 3 を用いて、
マッチング結果個別情報画面 5 4 に任意の詳細情報 5 4 1 が表示された状態で取引申込ボ
タン 5 4 3 をタップすると、この詳細情報 5 4 1 の元となる供給情報 1 1 1 a が選択され
る。マッチング部 1 2 は、選択された供給情報 1 1 1 a に、その需要者から選択されたこ
とを示す情報を記録する。ただし、マッチング部 1 2 は、供給情報 1 1 1 a がその需要者
から選択されたことを示す情報を、供給情報 1 1 1 a 以外のデータとして記録してもよい
。この状態で、マッチング部 1 2 の処理により、自動的に供給者の申込受諾の意思が示さ
れた場合（上記＜場合 1＞）や、この供給情報 1 1 1 a を登録した供給者が、供給者端末
2 に表示された取引申込ボタン（図示せず）をタップすることにより、供給者の取引申込
の意思又は申込受諾の意思が示された場合（上記＜場合 2＞）、供給者と需要者との間で
取引が成立したものと扱われる。具体的には、マッチング部 1 2 は、供給者端末 2 の
取引申込ボタン（図示せず）がタップされることによって供給者端末 2 から送信された信
号を受信した場合、供給者と需要者との間で取引が成立したものの処理（例えば、
供給者端末 2 の表示部 2 2 や需要者端末 3 の表示部 3 2 に、取引が成立したことを示す文
字情報を表示させる処理や、供給情報 1 1 1 a と需要情報 1 1 2 a に、取引が成立したこ
とを示す情報を記録する処理など）を行う。ただし、マッチング部 1 2 以外の構成や、マ
ッチング支援装置 1 以外の構成において、供給者と需要者との間で取引が成立したもの
としての処理を行ってもよい。また、供給者や需要者の取引申込の意思又は申込受諾の意
思の表示は、原則的に、供給者端末 2 や需要者端末 3 から送信された情報をマッチング支
援装置 1 のマッチング部 1 2 が取得することで行い、取引が成立したものとするための処
理は、原則的に、マッチング支援装置 1 のマッチング部 1 2 が自動処理によって行うが、
これに替えて、マッチング支援装置 1 の管理や操作を行うオペレータが、供給者や需要者
からの、電話等による口頭での連絡や F A X やメール等の通信手段での連絡によって取引
申込の意思又は申込受諾の意思を示す情報を取得し、オペレータが、取得した情報を手動
操作でマッチング支援装置 1 に入力することで取引が成立したものと扱ってもよい。な
お、取引の成立により、取引等は終了する。

【0172】

なお、図 2 0 に示す、供給者端末 2 のマッチング結果個別情報画面 5 3 においてプッ
シュボタン 5 3 4 がタップされ、図 2 1 に示すように、需要者端末 3 のマッチング結果個
別情報画面 5 4 において、任意の供給情報 1 1 1 a についてプッシュ受領表示 5 4 2 が表示
されたような場合であっても、需要者が、図 2 1 に示す、需要者端末 3 のマッチング結
果個別情報画面 5 4 において取引申込ボタン 5 4 3 をタップし、マッチング部 1 2 の処理に
より、自動的に供給者の申込受諾の意思が示された場合（上記＜場合 1＞）や、この供給
情報 1 1 1 a を登録した供給者が、供給者端末 2 に表示された取引申込ボタン（図示せず）
をタップすることにより、供給者の取引申込の意思又は申込受諾の意思が示された場合
（上記＜場合 2＞）、供給者と需要者との間で取引が成立したものと扱われる。

【0173】

上記＜場合 3＞＜場合 4＞をより詳細に説明する。例えば、供給情報 1 1 1 a の情報期
限や需要情報 1 1 2 a の情報期限 4 7 2（図 1 4 参照）の期間中又は期間が終了した後、
既にマッチングが成立して一又は複数のマッチング情報が保持された状態で、供給者が、
図 2 0 に示すマッチング結果個別情報画面 5 3 において取引申込ボタン（図 2 0 に図示せ

ず)をタップして、マッチングが成立した需要情報 1 1 2 aの中から供給者が自らのニーズに最も適合したものを選択した場合を考える。

【0174】

この場合、マッチング結果個別情報画面 5 3 には、ステップ S 3 ~ ステップ S 7 において情報記録部 1 1 に記録されて保持された状態のマッチング情報に係る需要情報 1 1 2 aが表示される。供給者が、供給者端末 2 を用いて、これらの需要情報 1 1 2 aの中から最も自らのニーズに適合した一の需要情報 1 1 2 aを選択し、マッチング部 1 2 の処理により、自動的に需要者の申込受諾の意思が示された場合(上記<場合 3>)や、この需要情報 1 1 2 aを登録した需要者が、需要者端末 3 に表示された取引申込ボタン 5 4 3 をタップすることにより、需要者の取引申込の意思又は申込受諾の意思が示された場合(上記<場合 4>)、マッチング部 1 2 は、選択された需要情報 1 1 2 a や、取引申込の意思又は申込受諾の意思が示された需要情報 1 1 2 a に、その供給者から選択されたことを示す情報を記録する。ただし、マッチング部 1 2 は、需要情報 1 1 2 a がその供給者から選択されたことを示す情報を、需要情報 1 1 2 a 以外のデータとして記録してもよい。以上の処理が行われることで、供給者と需要者との間で取引が成立したものとして扱われる。

10

【0175】

即ち、供給者が、供給者端末 2 を用いて、マッチング結果個別情報画面 5 3 に任意の詳細情報 5 3 1 が表示された状態で取引申込ボタン(図 2 0 に図示せず)をタップすると、この詳細情報 5 3 1 の元となる需要情報 1 1 2 a が選択される。この状態で、マッチング部 1 2 の処理により、自動的に需要者の申込受諾の意思が示された場合(上記<場合 3>)や、この需要情報 1 1 2 a を登録した需要者が、需要者端末 3 に表示された取引申込ボタン 5 4 3 をタップすることにより、需要者の取引申込の意思又は申込受諾の意思が示された場合(上記<場合 4>)、供給者と需要者との間で取引が成立したものとして扱われることとなる。具体的には、マッチング部 1 2 は、需要者端末 3 の取引申込ボタン 5 4 3 がタップされることによって需要者端末 3 から送信された信号を受信した場合、供給者と需要者との間で取引が成立したものとしての処理(例えば、供給者端末 2 の表示部 2 2 や需要者端末 3 の表示部 3 2 に、取引が成立したことを示す文字情報を表示させる処理や、供給情報 1 1 1 a と需要情報 1 1 2 a に、取引が成立したことを示す情報を記録する処理など)を行う。ただし、マッチング部 1 2 以外の構成や、マッチング支援装置 1 以外の構成において、供給者と需要者との間で取引が成立したものとしての処理を行ってもよい。また、供給者や需要者の取引申込の意思又は申込受諾の意思の表示は、原則的に、供給者端末 2 や需要者端末 3 から送信された情報をマッチング支援装置 1 のマッチング部 1 2 が取得することで行い、取引が成立したものとするための処理は、原則的に、マッチング支援装置 1 のマッチング部 1 2 が自動処理によって行うが、これに替えて、マッチング支援装置 1 の管理や操作を行うオペレータが、供給者や需要者からの、電話等による口頭での連絡や F A X やメール等の通信手段での連絡によって取引申込の意思又は申込受諾の意思を示す情報を取得し、オペレータが、取得した情報を手動操作でマッチング支援装置 1 に入力することで取引が成立したものとして扱ってもよい。

20

30

【0176】

なお、需要者端末 3 における任意の供給情報 1 1 1 a の選択や、供給者端末 2 における任意の需要情報 1 1 2 a の選択が行われた後、マッチング部 1 2 は、需要者端末 3 によって選択されなかった供給情報 1 1 1 a や、供給者端末 2 によって選択されなかった需要情報 1 1 2 a を、情報記録部 1 1 から消去して、保持された状態を解消すると共に、ステップ S 3 ~ ステップ S 7 の手順でマッチングが行われる前の状態に戻す。即ち、マッチング部 1 2 は、需要者端末 3 によって選択されなかった供給情報 1 1 1 a や、供給者端末 2 によって選択されなかった需要情報 1 1 2 a を、選択された需要情報 1 1 2 a や供給情報 1 1 1 a とのマッチングがされていない状態に戻す。具体的には、例えば図 6 A 及び図 6 B に示す状態において、図 6 B の(c)に示す、供給情報 1 1 1 a に含まれる「飲食店 B」1 1 1 a 1 が需要者によって選択されなかった場合には、この「飲食店 B」1 1 1 a 1 と、図 6 A の(b)に示す、需要情報 1 1 2 a に含まれる「レストラン」1 1 2 a 1 との紐

40

50

付けがされた状態から、この紐付けが解除された状態に戻される。同様に、任意の需要情報 1 1 2 a が供給者に選択されなかった場合には、その任意の需要情報 1 1 2 a と、その供給者の供給情報 1 1 1 a が紐付けられた状態から、この紐付けが解除された状態に戻される。これにより、マッチングが終了する（ステップ S 8）。

【 0 1 7 7 】

なお、需要情報 1 1 2 a の情報期限 4 7 2（図 1 4 参照）や供給情報 1 1 1 a の情報期限が終了する前に、マッチングが未成立で情報記録部 1 1 に記録された供給情報 1 1 1 a や需要情報 1 1 2 a で、供給情報 1 1 1 a の情報期限や需要情報 1 1 2 a の情報期限 4 7 2（図 1 4 参照）の範囲内にあるものについて、供給者端末 2 を使用する供給者や需要者端末 3 を使用する需要者が、当該需要情報 1 1 2 a や供給情報 1 1 1 a に基づくマッチングを終了させる旨の命令を送信した場合を考える。マッチング部 1 2 がこの命令を取得した場合も、マッチング部 1 2 は、当該供給情報 1 1 1 a や需要情報 1 1 2 a に基づくマッチングを終了させる。但し、マッチング部 1 2 が、マッチングが成立した供給情報 1 1 1 a と需要情報 1 1 2 a のうち何れか一方のみについてマッチングを終了させる旨の命令を取得した場合は、マッチング部 1 2 は、そのマッチングをキャンセルすると共に、終了させる旨の命令を取得していない方の供給情報 1 1 1 a や需要情報 1 1 2 a は、他の需要情報 1 1 2 a や供給情報 1 1 1 a とのマッチングに継続して用いる。

10

【 0 1 7 8 】

更に、マッチングが未成立で情報記録部 1 1 に記録された供給情報 1 1 1 a や需要情報 1 1 2 a で、需要情報 1 1 2 a の情報期限 4 7 2（図 1 4 参照）や供給情報 1 1 1 a の情報期限の範囲を超えた場合も、マッチング部 1 2 は、この供給情報 1 1 1 a や需要情報 1 1 2 a に基づくマッチング処理を終了させる。

20

【 0 1 7 9 】

[ステップ S 9 . サービスの提供および利用の開始]

ステップ S 8 において、マッチングの結果により取引が成立すると、マッチング部 1 2 は、取引が成立した供給情報 1 1 1 a や需要情報 1 1 2 a をマッチングの対象外とする。そして、供給者端末 2 を使用する供給者は、取引が成立した供給情報 1 1 1 a に基づくサービスや、当該供給情報 1 1 1 a に基づいた物品の提供を行い、需要者端末 3 を使用する需要者は、供給者から提供されるサービスの利用や、物品の購入や譲渡等を行うことができる（ステップ S 9）。

30

【 0 1 8 0 】

ここで、マッチングの結果により取引が成立すると、取引が成立したマッチングに係る供給情報 1 1 1 a 及び / 又は需要情報 1 1 2 a は、マッチング部 1 2 から、結果送信部 1 4 を経てスケジュール管理部 1 5 に送られる。そして、スケジュール管理部 1 5 は自らが作成し、又は管理するスケジュール情報 1 1 1 b 及び / 又はスケジュール情報 1 1 2 b に取得した供給情報 1 1 1 a 及び / 又は需要情報 1 1 2 a を組み込んでスケジュール情報 1 1 1 b 及び / 又はスケジュール情報 1 1 2 b を作成する。その結果、供給者端末 2 及び / 又は需要者端末 3 の表示部 2 2 及び / 又は表示部 3 2 には、月単位でスケジュールが表示される月単位スケジュール表示画面（図 2 2 参照）や週単位でスケジュールが表示される週単位スケジュール表示画面（図 1 1 参照）や日単位でスケジュールが表示される日単位スケジュール表示画面（図 1 2 参照）に、マッチングの結果取引が成立した供給情報 1 1 1 a 及び / 又は需要情報 1 1 2 a が表示される。例えば、図 1 2 に示す日単位スケジュール表示画面 4 5 においては、需要者が需要者端末 3 から選択して取引が成立した（つまり予約した）会議室の名称、場所、連絡先等の情報が表示されることになる。

40

【 0 1 8 1 】

< 動作手順 2 : 需要者端末 3 からの登録が先に行われる場合 >

これは、ステップ S 1 において、需要者端末 3 から需要情報 1 1 2 a が登録されて、ステップ S 2 において、供給者端末 2 から供給情報 1 1 1 a が登録されることでマッチングが開始される手順である。

【 0 1 8 2 】

50

この＜動作手順２＞は、ステップＳ１とステップＳ２とにおける、需要情報１１２ａと供給情報１１１ａの登録の順序が逆であること以外は、基本的に＜動作手順１＞と同様なので、以下簡略的に説明する。

【０１８３】

即ち、図４に示す手順においては、まず、需要者端末３からマッチング支援装置１に需要リソース要件であるリソース要件情報１１２ｃが登録され、これによる需要情報１１２ａの登録が行われる（ステップＳ１の矢印Ｂ１）。次に、供給者端末２からマッチング支援装置１に供給リクエスト登録による供給情報１１１ａの登録が行われ（ステップＳ２の矢印Ｂ２）、トリガ部１３は供給リクエスト登録をトリガに、マッチング部１２にマッチングさせる（ステップＳ３）。結果送信部１４はマッチング結果を供給者端末２及び／又は需要者端末３に送信する（ステップＳ３）。結果送信部１４はマッチングの集計情報を作成し、「ニーズ集計情報」としての供給者端末２への送信、及び／又は「リコメンド集計情報」としての需要者端末３への送信を行う（ステップＳ４）。情報記録部１１、マッチング部１２、トリガ部１３は、需要者端末３からの需要情報１１２ａの追加・更新・削除要求、又は供給者端末２からの供給情報１１１ａの追加・更新・削除要求を取得すると（ステップＳ５）、それをトリガとして、需要情報１１２ａと供給情報１１１ａとのマッチングを行い、結果送信部１４はマッチング結果を供給者端末２及び／又は需要者端末３に送信すると共に、情報記録部１１はマッチングの成立情報を保持する（ステップＳ６）。マッチング支援装置１は、ステップＳ４～Ｓ６の手順を繰り返す（ステップＳ７）。供給情報１１１ａの情報期限の期間中又は期間終了後、又は需要情報１１２ａの情報期限４

10

20

【０１８４】

以上示したように、この実施の形態においては、マッチング部１２は、任意の期間中、成立したマッチング情報を情報記録部１１に記録して成立したマッチング情報を保持すると共に、成立したマッチング情報に係る需要情報１１２ａ及び供給情報１１１ａのうち少なくとも何れか一方についてマッチングを継続して行い、マッチング部１２は、任意の期間の期間中、又は任意の期間が終了した後において、結果送信部１４によって供給者端末２及び需要者端末３のうち少なくとも何れか一方に送信され、供給者端末２及び需要者端末３のうち少なくとも何れか一方、及び／又は、供給者端末２を使用する供給者及び需要者端末３を使用する需要者のうち少なくとも何れか一方によって選択された、需要情報１１２ａ及び供給情報１１１ａのうち少なくとも何れか一方について、取引が成立したものとして処理を行うことにより、供給者や需要者は、マッチングが成立した需要情報１１２ａや供給情報１１１ａを任意の期間中一時的に保持しておいて、任意の期間の期間中、又は任意の期間が終了した後において、保持された需要情報１１２ａや供給情報１１１ａの中から最良のものを選択でき、また、供給者や需要者が選択した需要情報１１２ａや供給情報１１１ａについて取引を成立させることができる。これにより、供給者や需要者に対して、マッチングの条件に適合したサービスや商品等の中から最良のものを選択して取引を成立させる機会を提供することができる。

30

40

【０１８５】

この実施の形態においては、マッチング部１２は、任意の期間内であっても、マッチングが成立した時点でマッチングを終了させることにより、マッチングが成立した供給情報１１１ａや需要情報１１２ａについて再度マッチングが行われて情報処理や取引に支障をきたす事態を防止できる。これにより、的確な情報処理や取引を実現すると共に、情報の変化を迅速かつ的確に反映した、需要情報１１２ａと供給情報１１１ａとのマッチングを確実に実現することができる。

50

【 0 1 8 6 】

この実施の形態においては、マッチング部 1 2 は、任意の期間内であっても、供給者端末 2 及び需要者端末 3 のうち少なくとも何れか一方からマッチングを終了させる旨の命令を取得した時点でマッチングを終了させることにより、サービスや商品の供給者や需要者がマッチングを希望しなくなった供給情報 1 1 1 a や需要情報 1 1 2 a について再度マッチングが行われて情報処理や取引に支障をきたす事態を防止できる。これにより、的確な情報処理や取引を実現すると共に、情報の変化を迅速かつ的確に反映した、需要情報 1 1 2 a と供給情報 1 1 1 a とのマッチングを確実に実現することができる。

【 0 1 8 7 】

この実施の形態においては、設定された任意の条件をトリガにして需要情報 1 1 2 a と供給情報 1 1 1 a とのマッチングを行わせることができる。また、トリガ部 1 3 は、供給者端末 2 及び需要者端末 3 のうち少なくとも何れか一方から、新たな供給情報 1 1 1 a 、新たな需要情報 1 1 2 a 、及び、既得の供給情報 1 1 1 a 及び / 又は既得の需要情報 1 1 2 a を更新する更新情報のうち少なくとも何れか一つを取得した場合に供給情報 1 1 1 a 、需要情報 1 1 2 a 、及び更新情報のうち少なくとも何れか一つをトリガとしてマッチング部 1 2 にマッチングを行わせることにより、供給者側及び需要者側のうち少なくとも何れか一方から送信される情報に生じた変化を迅速に反映させたマッチングを行い、情報を提供した供給者及び需要者に迅速な取引機会を与えることができる。また、マッチングの結果を逐次需要者端末 3 及び供給者端末 2 のうち少なくとも何れか一方に送信することにより、需要者及び供給者に対し、マッチングの成立又は不成立に基づいた更なる取引機会を、迅速かつ的確に与えることができる。

【 0 1 8 8 】

この実施の形態においては、マッチング部 1 2 は、マッチングの結果をスケジュール管理部 1 5 に送り、スケジュール管理部 1 5 は、マッチングの結果を用いてスケジュール作成を行うことにより、需要者や供給者のスケジュール管理とマッチングとを連動させ、マッチングの結果を用いて需要者や供給者のスケジュールを作成することができる。これにより、需要情報 1 1 2 a と供給情報 1 1 1 a とのマッチングの結果に基づいてスケジュールを作成する際の利便性を向上させることができる。

【 0 1 8 9 】

この実施の形態においては、マッチング部 1 2 は、スケジュール管理部 1 5 の要求に基づいてマッチングを行うことにより、スケジュール作成の過程で必要になった需要情報 1 1 2 a や供給情報 1 1 1 a についてマッチングを行い、マッチングを成立させることが可能になる。特に、需要者端末 3 や供給者端末 2 に表示されたスケジュール作成画面からマッチングの要求を行える設定としておけば、需要者や供給者はスケジュール作成画面から、マッチング支援装置 1 に対し、需要情報 1 1 2 a や供給情報 1 1 1 a のマッチングを要求することが可能になる。これにより、スケジュール内容に基づいて需要情報 1 1 2 a や供給情報 1 1 1 a のマッチングを要求する際の利便性を一層向上させることができる。

【 0 1 9 0 】

なお、上記実施の形態においては、ステップ S 1 において、マッチングの対象となる供給情報 1 1 1 a 及び / 又は需要情報 1 1 2 a を、供給者端末 2 及び / 又は需要者端末 3 から送信されて、リソース要件情報 1 1 1 c 及び / 又はリソース要件情報 1 1 2 c として登録されて情報記録部 1 1 に記録されたものに基づいて生成し、登録するものとしたが、(リソース要件情報 1 1 1 c 及び / 又はリソース要件情報 1 1 2 c としてではなく、供給情報 1 1 1 a 及び / 又は需要情報 1 1 2 a として) 供給者端末 2 及び / 又は需要者端末 3 から送信されて、供給情報 1 1 1 a 及び / 又は需要情報 1 1 2 a としての登録や情報記録部 1 1 に記録がされていない供給情報 1 1 1 a 及び / 又は需要情報 1 1 2 a に基づいてマッチングを行わせることもできる。また、ステップ S 1 において、供給情報 1 1 1 a 及び / 又は需要情報 1 1 2 a として、供給者端末 2 及び / 又は需要者端末 3 から送信されて、供給情報 1 1 1 a 及び / 又は需要情報 1 1 2 a として登録され、情報記録部 1 1 に記録されたものに基づいて、マッチングを行わせることもできる。

【 0 1 9 1 】

< 応用例 1 >

上記実施の形態のマッチング支援システム 1 A 及びマッチング支援装置 1 では、一の端末（一の供給者の供給者端末 2、又は、一の供給者及び需要者の供給者端末 2 及び需要者端末 3）から登録された供給情報 1 1 1 a と、一の端末（一の需要者の需要者端末 3、又は、一の供給者及び需要者の供給者端末 2 及び需要者端末 3）から登録された需要情報 1 1 2 a との間でマッチングが行われ、当該一の端末（一の供給者の供給者端末 2、又は、一の供給者及び需要者の供給者端末 2 及び需要者端末 3）を使用する供給者、又は、供給者及び需要者、及び、一の端末（一の需要者の需要者端末 3、又は、一の供給者及び需要者の供給者端末 2 及び需要者端末 3）を使用する需要者、又は、供給者及び需要者のみがマッチング結果を使用する場合が示された。しかし、これに限らず、一のマッチングの結果を、マッチングが行われた供給者端末 2 及び / 又は需要者端末 3 以外の供給者端末 2 及び / 又は需要者端末 3 にも共有させることができる。

10

【 0 1 9 2 】

例えば、マッチングの結果（ステップ S 3）マッチングが成立して、会議室が予約できた場合、結果送信部 1 4 は、この会議室予約状況を、マッチング支援装置 1 を使用する、当該需要者端末 3 の需要者、又は、当該供給者端末 2 及び需要者端末 3 の供給者及び需要者と同じカテゴリーに属する需要者、又は、供給者及び需要者（例えば同じ会社の社員）の使用する需要者端末 3、又は、供給者及び需要者（例えば同じ会社の社員）の使用する供給者端末 2 及び需要者端末 3 に対しても、当該マッチング結果による会議室の予約状況を送信するような構成としてもよい。このような構成とすることで、マッチングの結果を複数の需要者間や供給者間で容易に共有し、需要者や供給者の利便性を向上させることもできる。

20

【 0 1 9 3 】

< 応用例 2 >

上記実施の形態のマッチング支援システム 1 A 及びマッチング支援装置 1 の結果送信部 1 4 の有するリコメンドエンジンを活用し、マッチングが未成立の供給情報 1 1 1 a 及び / 又はマッチングが未成立の需要情報 1 1 2 a を需要者端末 3 及び / 又は供給者端末 2 に送信することで、マッチングの成立可能性を高めることができる。

【 0 1 9 4 】

例えば、上記ステップ S 4 において、マッチングの結果、条件に適合しなかったが近い条件である供給情報 1 1 1 a（例えば、「場所」が需要情報 1 1 2 a の希望する「場所」から、予め設定された距離（例えば 5 0 0 m）以内の距離にあるが、「最寄駅」が需要情報 1 1 2 a の希望する「最寄駅」とは異なる場所にある会議室）が情報記録部 1 1 に記録されている場合を考える。この場合、結果送信部 1 4 は、当該供給情報 1 1 1 a を、需要者端末 3、又は、供給者端末 2 及び需要者端末 3 に対し、マッチングの成立結果の情報とは別に「おすすめ情報」として送信してもよい。同様に、結果送信部 1 4 は、当該供給情報 1 1 1 a を送信した供給者端末 2、又は、供給者端末 2 及び需要者端末 3 に対しても、当該マッチングの結果とは別に「参考情報」として、上記需要者端末 3、又は、供給者端末 2 及び需要者端末 3 から送信された需要情報 1 1 2 a を送信してもよい。

30

40

【 0 1 9 5 】

このように、結果送信部 1 4 は、マッチングが未成立の供給情報 1 1 1 a 及びマッチングが未成立の需要情報 1 1 2 a のうち少なくとも何れか一方を需要者端末 3 及び / 又は供給者端末 2 に送信することにより、需要情報 1 1 2 a を登録した、需要者端末 3 を使用する需要者、又は、供給者端末 2 及び需要者端末 3 を使用する供給者及び需要者と、供給情報 1 1 1 a を登録した、供給者端末 2 を使用する供給者、又は、供給者端末 2 及び需要者端末 3 を使用する供給者及び需要者との双方に対し、現在マッチング成立を待っているサービスや商品の内容、現在マッチング成立を待っている需要者の希望等を知らしめて、供給情報 1 1 1 a の告知や、需要情報 1 1 2 a に即した供給情報 1 1 1 a の送信の促進を行うことができる。これにより、マッチングの成立可能性を高めることが可能になる。

50

【0196】

< 応用例 3 >

上記実施の形態のマッチング支援システム 1 A 及びマッチング支援装置 1 のマッチング部 1 2 とスケジュール管理部 1 5 とを連動させることで、単発のイベントだけでなく、定期的に発生するイベントを、マッチングによって決定し、スケジュール情報 1 1 1 b 及び / 又はスケジュール情報 1 1 2 b を作成することもできる。

【0197】

図 2 2 は、この実施の形態に係るマッチング支援システム 1 A 及びマッチング支援装置 1 における、需要者端末 3 の表示部 3 2 に月単位スケジュール表示画面 5 5 が表示された状態の概念図である。なお同図においては、需要者端末 3 自体の表示や各種ボタンの表示は省略してある。同図に示す通り、月単位スケジュール表示画面 5 5 には、「北海道出張」や「スキー」等の単発イベントに加え、毎週定期的に発生するイベントとして、例えば毎週日曜日の「ゴルフ練習」という第一の定期イベント 5 5 1、毎週土曜日の「食料品買い出し」という第二の定期イベント 5 5 2 等が存在する。

10

【0198】

スケジュール管理部 1 5 は、需要者端末 3 からの需要者の要求により、「北海道出張」という第一の単発イベント 5 5 3、「スキー」という第二の単発イベント 5 5 4 のみならず、上述の第一の定期イベント 5 5 1、第二の定期イベント 5 5 2 についてもマッチング部 1 2 におけるマッチングを行わせ、マッチングの結果に基づいて成立した取引（つまり、予約したゴルフ場や購入するネットスーパー等）を用いてスケジュールを作成し、作成したスケジュールを月単位スケジュール表示画面 5 5 に表示させる。

20

【0199】

ここで、例えばゴルフ場の予約の場合、ある特定の日（例えば図 2 2 における 1 1 月 4 日）は A カントリークラブのみ予約可能で、別の特定の日（例えば図 1 1 における 1 1 月 1 1 日）は A カントリークラブの近隣の B カントリークラブのみ予約可能であるような場合、つまり、日時毎に取引成立条件が異なる事態が起こりうる。そして、マッチング部 1 2 は、このような日時毎に取引成立条件が異なる場合であっても、取引成立可能な供給情報 1 1 1 a を、日時毎に、需要者端末 3、又は、供給者端末 2 及び需要者端末 3 に送信して需要者、又は、供給者及び需要者に取引を行わせたり、取引成立可能な需要情報 1 1 2 a を、日時毎に、供給者端末 2、又は、供給者端末 2 及び需要者端末 3 に送信して供給者、又は、供給者及び需要者に取引を行わせることができる。これにより、定期イベントが含まれるスケジュールの取引の利便性を向上させることができる。

30

【0200】

< 応用例 4 >

上記実施の形態のマッチング支援システム 1 A 及びマッチング支援装置 1 においては、複数の需要情報 1 1 2 a や供給情報 1 1 1 a の統括を行うことで、類似の需要要件を有する複数の需要者や類似の供給要件を有する複数の供給者にとって利便性の高いシステムを提供することができる。

【0201】

具体的には、例えば、マッチング支援システム 1 A 及びマッチング支援装置 1 は、需要者端末 3、又は、供給者端末 2 及び需要者端末 3 を用いる、類似の需要要件を持った複数の需要者、及び / 又は、供給者及び需要者に対し、相互に類似需要要件の存在を知らしめて、需要要件の取りまとめを行うことで、個の需要要件を集団の需要要件として成立させることができる。

40

【0202】

また、例えば、マッチング支援システム 1 A 及びマッチング支援装置 1 は、供給者端末 2、又は、供給者端末 2 及び需要者端末 3 を用いる、類似の供給要件を持った複数の供給者、及び / 又は、供給者及び需要者に対し、相互に類似供給要件の存在を知らしめて、供給要件の取りまとめを行うことで、個の供給要件を集団の供給要件として成立させることができる。

50

【0203】

このような構成とすることにより、需要者、及び／又は、供給者及び需要者同士の需要情報112aを取りまとめたり、供給者、及び／又は、供給者及び需要者同士の供給情報111aを取りまとめたりすることが可能となり、その結果、個々の需要情報112aの需要要件や、個々の供給情報111aの供給要件では条件が折り合わなかった取引に対し、成立可能性の高い条件提示が可能となる。

【0204】

< 応用例5 >

上記実施の形態のマッチング支援システム1A及びマッチング支援装置1においては、行動計画変数を用いて供給者や需要者に種々の取引機会を提供することができる。

10

【0205】

ここで「行動計画変数」とは、需要者の取引計画と取引の結果との差異比較、及び／又は、供給者の取引計画と取引の結果との差異比較、に基づいて算出された予定対実績差異比率及び予定対実績差異比率に基づいて算出された計画信頼度を示す変数のことである。

【0206】

この、行動計画変数の取得手順について以下具体的に説明する。

【0207】

まず、需要者の行動計画変数を得る場合を考える。上記実施の形態のマッチング支援システム1A及びマッチング支援装置1において、マッチング部12は、例えば[予備手順2. 事前登録]等において、需要者が需要者端末3から入力した取引計画の情報(例えば、任意の商品の購入や、任意のサービスの提供を受けること等の計画情報)を需要者側情報112の一部として登録する。取引計画の情報は、取引全体(例えば、「任意の商品の購入」という取引全体)を単位としてもよいし、取引全体を構成する個々の要件項目(たとえば、「任意の商品の購入」という取引を構成する「購入時期」「購入する商品の銘柄」「購入する数量」等の個々の要件項目)を単位としてもよい。また、需要者によって入力された取引計画の情報は、マッチング部12がスケジュール管理部15にスケジュール情報112b等として登録させる処理を行わせてもよいし、マッチング部12がスケジュール情報112b等とは別個の情報として登録してもよい。そして、マッチング部12は、[ステップS8. マッチングの完了]において取引が成立した後、この、取引が成立した際の需要情報112aを取得する。

20

30

【0208】

そして、マッチング部12は、登録された取引計画の情報と取得された需要情報112aとを比較し、取引計画の情報と取得された需要情報112aにおける取引計画の情報に対応する情報(たとえば、取引計画の情報が取引全体である場合は、対応する取引全体がこれに相当し、取引計画の情報が個々の要件項目である場合は、対応する個々の要件項目がこれに相当する。以下これを「対応情報」と称する。)とが一致するか否かを確認する。

【0209】

マッチング部12は、取引計画の情報と需要情報112aの対応情報とが一致した場合は、その対応情報は、取引計画に基づいて取引が成立したものとして、需要者側情報112の一部に登録する。マッチング部12は、それらの情報に基づいて得られた任意の数値に基づいて、任意の計算(例えば、「取引計画に基づいて成立した取引における対応情報の数」÷「需要者端末3から入力された取引計画の数」等)を行い、予定対実績差異比率を算出する。そして、マッチング部12は、算出された予定対実績差異比率を、需要者の行動計画変数とする。マッチング部12は、取引が成立するたびに予定対実績差異比率を算出して需要者の行動計画変数としてもよいし、過去(即ち、任意の時点よりも前)の任意の期間に成立した複数の取引の全てについて予定対実績差異比率を算出して需要者の行動計画変数としてもよい。

40

【0210】

次に、供給者の行動計画変数を得る場合を考える。この場合も、基本的な手順は需要者

50

の行動計画変数を得る場合と同じである。即ち、上記実施の形態のマッチング支援システム 1 A 及びマッチング支援装置 1 において、マッチング部 1 2 は、例えば [予備手順 2 . 事前登録] 等において、供給者が供給者端末 2 から入力した取引計画の情報（例えば、任意の商品の提供や、任意のサービスの提供等の計画情報）を供給者側情報 1 1 1 の一部として登録する。取引計画の情報は、取引全体（たとえば、「任意の商品の提供」という取引全体）を単位としてもよいし、取引全体を構成する個々の要件項目（たとえば、「任意の商品の提供」という取引全体を構成する「提供時期」「提供する商品の銘柄」「提供する数量」等の個々の要件項目）を単位としてもよい。また、供給者によって入力された取引計画の情報は、マッチング部 1 2 がスケジュール管理部 1 5 にスケジュール情報 1 1 1 b 等として登録させる処理を行わせてもよいし、マッチング部 1 2 がスケジュール情報 1 1 1 b 等とは別個の情報として登録してもよい。そして、マッチング部 1 2 は、[ステップ S 8 . マッチングの完了] において取引が成立した後、この、取引が成立した際の供給情報 1 1 1 a を取得する。

10

【 0 2 1 1 】

そして、マッチング部 1 2 は、登録された取引計画の情報と取得された供給情報 1 1 1 a とを比較し、取引計画の情報と取得された供給情報 1 1 1 a における取引計画の情報に対応する情報とが一致するか否かを確認する。

【 0 2 1 2 】

マッチング部 1 2 は、取引計画の情報と供給情報 1 1 1 a の対応情報とが一致した場合は、その対応情報は、取引計画に基づいて取引が成立したのものとして、供給者側情報 1 1 1 の一部に登録する。マッチング部 1 2 は、それらの情報に基づいて得られた任意の数値に基づいて、任意の計算（例えば、「取引計画に基づいて成立した取引における対応情報の数」÷「供給者端末 2 から入力された取引計画の数」等）を行い、予定対実績差異比率を算出する。そして、マッチング部 1 2 は、算出された予定対実績差異比率を、供給者の行動計画変数とする。マッチング部 1 2 は、取引が成立するたびに予定対実績差異比率を算出して供給者の行動計画変数としてもよいし、過去（即ち、任意の時点よりも前）の任意の期間に成立した複数の取引の全てについて予定対実績差異比率を算出して供給者の行動計画変数としてもよい。

20

【 0 2 1 3 】

上記実施の形態のマッチング支援システム 1 A 及びマッチング支援装置 1 は、上述のようにして得られた行動計画変数を用いて、需要者の未来（即ち、任意の時点より後のこと）の需要計画情報、及び / 又は、供給者の未来（即ち、任意の時点より後のこと）の供給計画情報、の信頼度および傾向値を計測するための統計情報を形成して、供給者や需要者に提供することができる。なお、マッチング部 1 2 は、この統計情報を、行動計画変数以外の情報、例えば、需要者の過去の取引、及び / 又は、供給者の過去の取引、に対する第三者の評価（例えば、その需要者とマッチングに基づく取引を含む各種取引を行った供給者から提供された、その需要者の信頼の度合いを示す数値、あるいは、その供給者とマッチングに基づく取引を含む各種取引を行った需要者から提供された、その供給者の信頼の度合いを示す数値、等）等を含めて形成することもできる。

30

【 0 2 1 4 】

具体的には、例えば、マッチング部 1 2 は、需要者が需要者端末 3 からマッチング支援装置 1 に登録した需要情報 1 1 2 a を供給者端末 2 に表示させる際に、その需要者の過去の取引に基づいて形成された行動計画変数を併せて表示することができる。これにより、供給者端末 2 を使用する供給者は、その需要者の取引の信頼度を判断するための指標（即ち、その需要者の需要情報 1 1 2 a とのマッチングを行った場合、取引の成立につながる可能性がどの程度あるのかを判断する参考となる指標）を得ることができる。

40

【 0 2 1 5 】

同様に、例えば、マッチング部 1 2 は、供給者が供給者端末 2 からマッチング支援装置 1 に登録した供給情報 1 1 1 a を需要者端末 3 に表示させる際に、その供給者の過去の取引に基づいて形成された行動計画変数を併せて表示することができる。これにより、需要

50

者端末3を使用する需要者は、その供給者の取引の信頼度を判断するための指標（即ち、その供給者の供給情報111aとのマッチングを行った場合、取引の成立につながる可能性がどの程度あるのかを判断する参考となる指標）を得ることができる。

【0216】

また、行動計画変数は、供給者が需要者の動向や嗜好を分析し戦略を立てるための消費者購買行動分析やセグメンテーション分析におけるセグメンテーション変数として利用することで、分析の確度および効率を向上させることができる。

【0217】

従来の消費者購買行動分析やセグメンテーション分析における予測分析が、行動変数等を利用した過去の購買実績に基づく予測分析であることに対し、行動計画変数による予測分析は、消費者自身の過去の購買計画と購買実績との差異から導かれる個々の消費者の計画信頼度に裏打ちされた消費者自身の未来の購買計画に基づく予測分析であることから、よりの確な消費者購買行動の把握や高確度のセグメンテーションが可能になる。

10

【0218】

このように、行動計画変数を用いた統計情報を需要者や供給者に提供することにより、需要者や供給者が取引計画を立てる際の利便性を向上させることができる。即ち、個々の需要者や個々の供給者が登録した取引計画に対して、現実にはどのような購買や供給が行われるのかについて、高確度、高確率の予測分析が可能になる。また、供給者は、需要者の取引の時期や取引の動向を計画信頼度付の予測情報として得ることができるため、より確実な取引計画や開発計画の策定等が可能になる。また、需要者は、供給者の取引の時期や取引の動向を計画信頼度付の予測情報として得ることができるため、より確実な取引計画の策定が可能になる。

20

【0219】

<利用の具体例1>

例えば、不動産売買に用いる場合が考えられる。即ち、家を買いたい人（需要者）と、家を売りたい人（供給者）とがマッチング支援装置1を用いてマッチングを行い、取引を行う場合等がこれにあたる。

【0220】

<利用の具体例2>

例えば、求人・求職及び雇用に関する場合が考えられる。即ち、求職希望者（供給者）と雇用者や雇用企業（需要者）とがマッチング支援装置1を用いてマッチングを行い、雇用先確保と従業員確保を図る場合等がこれにあたる。

30

【0221】

<利用の具体例3>

例えば、店や輸送機関等の空席確保に関する場合が考えられる。即ち、料理店の空席や航空機の席を予約したい人（需要者）と料理店や航空会社とがマッチング支援装置1を用いてマッチングを行い、空席確保と予約確保を図る場合等がこれにあたる。

【0222】

なお、上記実施の形態においては、基本的に、[予備手順1．メニュー画面表示]～[予備手順3．スケジュールへのスケジュール登録]における手順や、[ステップS1（矢印A1）．情報の準備・蓄積]～[ステップS9．サービスの提供および利用の開始]等に示す手順等において、マッチング支援装置1が、供給者端末2や需要者端末3との情報の送受信や、供給者端末2や需要者端末3から送信された情報の処理を自動的に行うものとした。しかしこれに関わらず、上記実施の形態においては、上記に示す手順等のうち少なくとも一部の手順を、マッチング支援装置1の管理や操作を行うオペレータが、供給者や需要者からの電話等による口頭での連絡や、FAXやメール等の通信手段によって情報を送受信したり、取得した情報を手動操作でマッチング支援装置1に入力したり、取得した情報の加工処理等を手動操作で行ったりすることもできる。

40

【0223】

上記実施の形態は本発明の例示であり、本発明が上記実施の形態のみに限定されること

50

を意味するものではないことは、いうまでもない。

【産業上の利用可能性】

【0224】

この実施の形態のマッチング支援システム1A及びマッチング支援装置1は、サービスや物品等について、需要情報112aと供給情報111aとのマッチングを行う必要のある様々な分野に用いられる。例えば、いわゆるB to Bの分野では、人材マッチング、貸会議室や貸セミナー会場等のマッチング、ビジネスやソリューションのマッチングが考えられる。また、いわゆるB to Cの分野では、レストランや居酒屋等のマッチング、美容室のマッチング、ホテルや旅館やツアー会社等のマッチング、賃貸不動産やリフォーム業者のマッチング、ショッピング用ECサイト等のマッチング等に応用することが考えられる。更に、いわゆるC to Cの分野では、個人間での中古品の売買等におけるオークションや逆オークション等に応用することが考えられる。

10

【符号の説明】

【0225】

1A・・・マッチング支援システム

1・・・マッチング支援装置

2, 2₁, ..., 2_n・・・供給者端末

3, 3₁, ..., 3_m・・・需要者端末

11・・・情報記録部(情報記録手段)

12・・・マッチング部(マッチング手段)

13・・・トリガ部(トリガ手段)

14・・・結果送信部(結果送信手段)

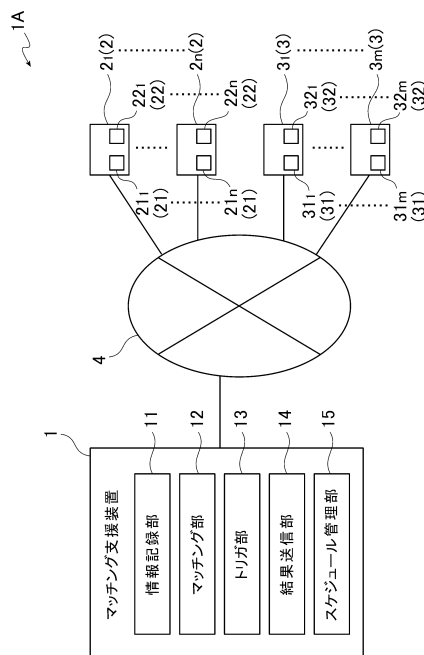
15・・・スケジュール管理部(スケジュール管理手段)

111a・・・供給情報

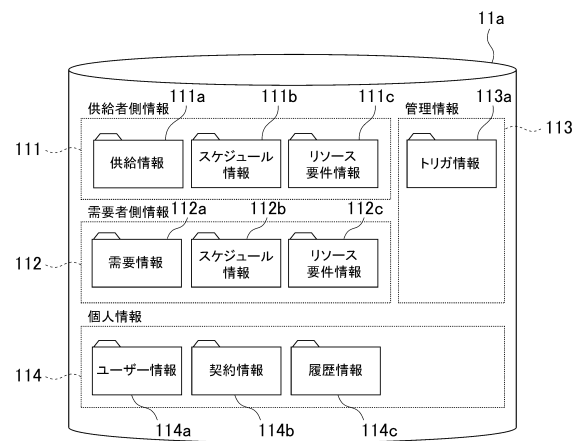
112a・・・需要情報

20

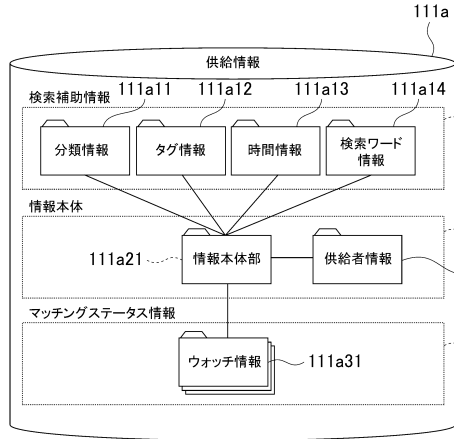
【図1】



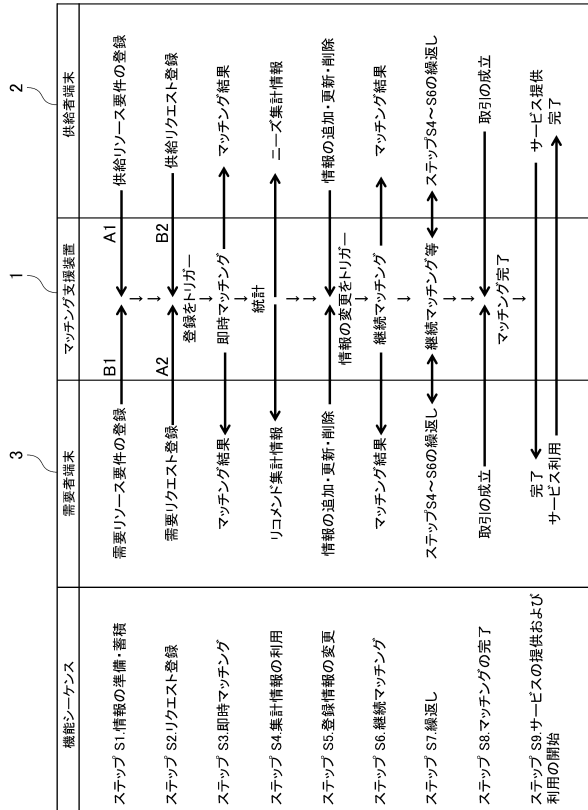
【図2】



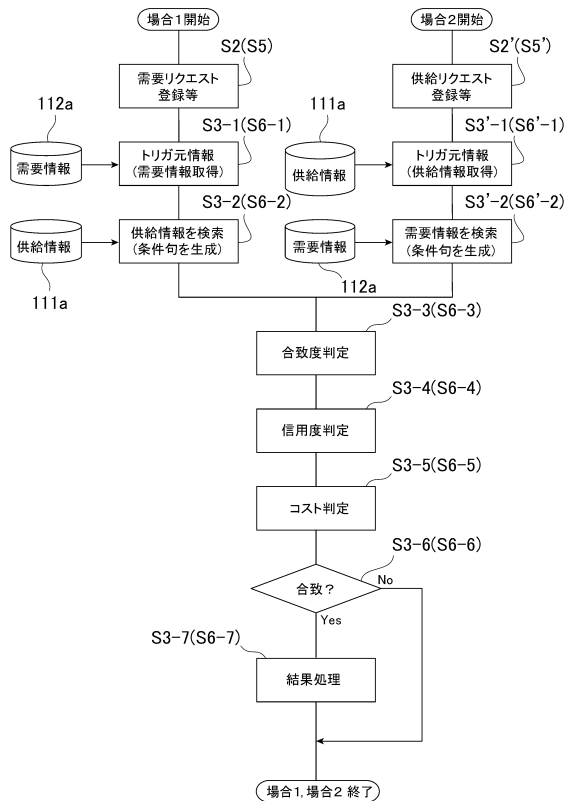
【図3】



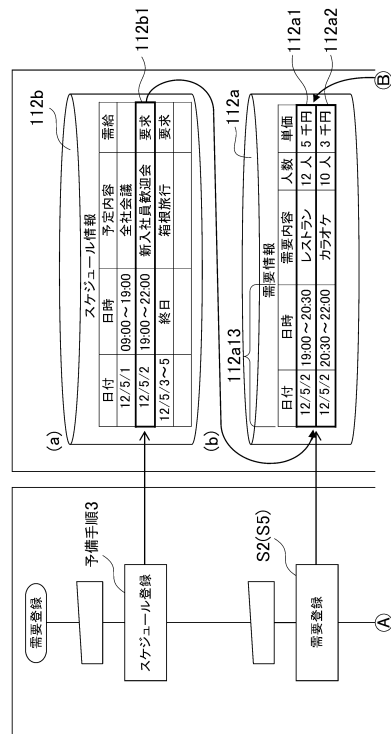
【図4】



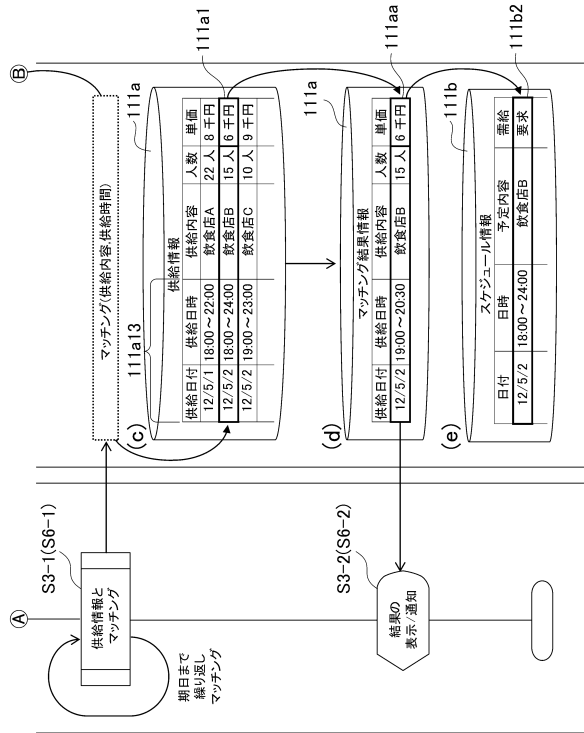
【図5】



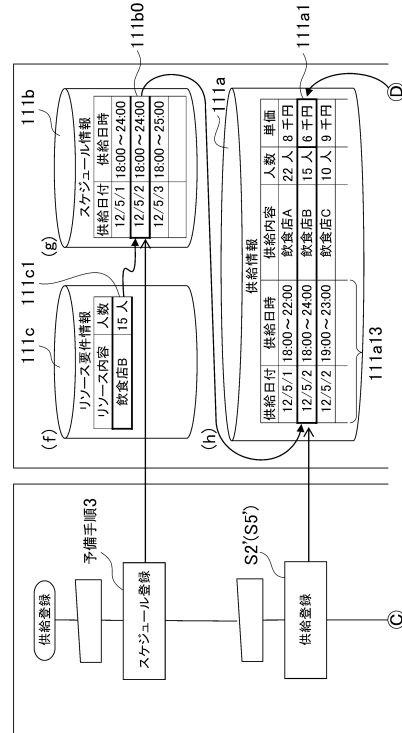
【図6A】



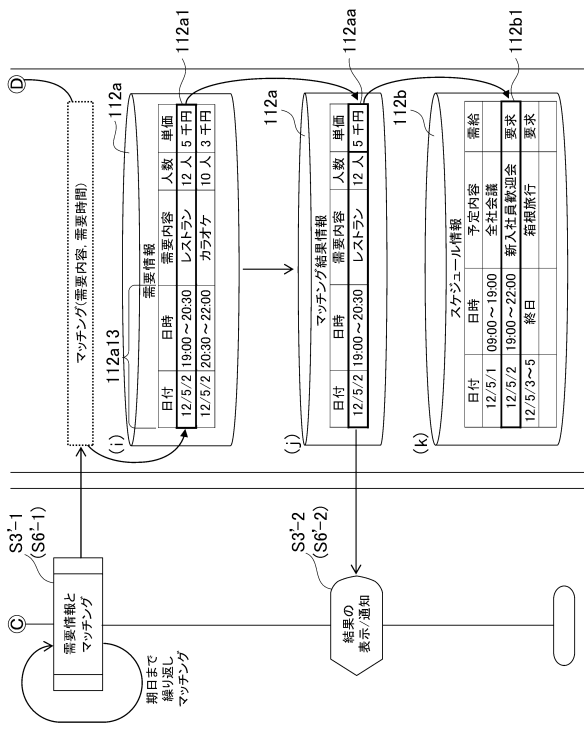
【 図 6 B 】



【 図 7 A 】



【 図 7 B 】



【 図 8 】



【図 9】



【図 10】



【図 11】



【図 12】



【図 13】



【図 14】



【図 15】



【図 16】



【図 17】



【図 18】



【図 19】



【図 20】



【 図 2 1 】



【 図 2 2 】

日	月	火	水	木	金	土
				会社	会社	食料品買い出し
					会社	
					会社	
3					会社	
4	3					
5	4					
6	5					
7	6					
8	7					
9	8					
10	9					
11	10					
12	11					
13	12					
14	1					
15	2					
16	3					
17	4					
18	5					
19	6					
20	7					
21	8					
22	9					
23	10					
24	11					
25	12					
26	1					
27	2					
28	3					
29	4					
30	5					
31	6					
32	7					
33	8					
34	9					
35	10					
36	11					
37	12					
38	1					
39	2					
40	3					
41	4					
42	5					
43	6					
44	7					
45	8					
46	9					
47	10					
48	11					
49	12					
50	1					
51	2					
52	3					
53	4					
54	5					
55	6					
56	7					
57	8					
58	9					
59	10					
60	11					
61	12					
62	1					
63	2					
64	3					
65	4					
66	5					
67	6					
68	7					
69	8					
70	9					
71	10					
72	11					
73	12					
74	1					
75	2					
76	3					
77	4					
78	5					
79	6					
80	7					
81	8					
82	9					
83	10					
84	11					
85	12					
86	1					
87	2					
88	3					
89	4					
90	5					
91	6					
92	7					
93	8					
94	9					
95	10					
96	11					
97	12					
98	1					
99	2					
100	3					
101	4					
102	5					

フロントページの続き

(56)参考文献 特開2003-216835(JP,A)
特開2010-146538(JP,A)
特開2008-102756(JP,A)
特開2007-164675(JP,A)
特開2006-338678(JP,A)
特開2006-059195(JP,A)
特開2002-304492(JP,A)
特開2002-041869(JP,A)
特開2002-259826(JP,A)
特開2003-345952(JP,A)
特開2003-323484(JP,A)
特開2002-015104(JP,A)
特開2001-325409(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G06Q 10/00-50/34